

奈良県民の暮らしに関する調査の結果（分析の要点）

（目次）

| | |
|-----------------------------------|-------|
| 1．調査の概要について | P 1 |
| 2．調査全体の分析 | |
| （1）生活行動（世帯員の生活行動） | |
| 家事・介護を主に担当する人 | P 2 |
| 買い物の交通手段 | P 4 |
| （2）つながり（近所づきあい・地域社会とのつながり） | |
| 近所づきあい | P 5 |
| 近所づきあいの程度と地域社会・地域活動との関係 | P 6 |
| （3）家計の状況（収入等の経済状況） | |
| 世帯全体の収入（年間） | P 7 |
| 世帯全体の家計支出（一ヶ月当たり） | P 9 |
| 世帯全体の貯蓄 | P 1 1 |
| 世帯全体の借入金 | P 1 3 |
| 3．テーマ別分析 | |
| （1）家計のゆとり・苦しさに関する状況 | |
| 1年間の家計の総合的な状況 | P 1 5 |
| 家計のゆとり・苦しさの状況と収入額との関係(全世帯) | P 1 7 |
| 家計のゆとり・苦しさの状況と収入額との関係(高齢者世帯) | P 1 8 |
| 家計のゆとり・苦しさの状況と収入額との関係(高齢者世帯以外) | P 1 8 |
| 家計のゆとり・苦しさの状況と就業状況との関係 | P 1 9 |
| 家計のゆとり・苦しさの状況と就労先の産業 | P 1 9 |
| （2）「5つの構想案」に関連するデータ | |
| 健やかに生きる （余暇の取得状況） | P 2 0 |
| （余暇の過ごし方・休日・男性） | P 2 0 |
| （余暇の過ごし方・休日・女性） | P 2 1 |
| 奈良に暮らす （奈良県に住むようになったきっかけ） | P 2 2 |
| （奈良県に住もうと決めた、また住み続けている理由） | P 2 3 |
| （3）南和地域の暮らしの特徴 | |
| 世帯類型 | P 2 5 |
| 年間収入(全世帯) | P 2 5 |
| 年間収入(高齢者世帯) | P 2 6 |
| 年間収入(高齢者世帯以外) | P 2 6 |
| 月間支出(全世帯) | P 2 7 |
| 月間支出(高齢者世帯) | P 2 7 |
| 月間支出(高齢者世帯以外) | P 2 8 |
| 総合的な家計の状況(全世帯) | P 2 8 |
| 総合的な家計の状況(高齢者世帯) | P 2 9 |
| 総合的な家計の状況(高齢者世帯以外) | P 2 9 |
| 近所づきあいの程度 | P 3 0 |

平成23年3月

奈良県 総務部 知事公室 統計課

1. 調査の概要について

奈良県民の暮らし向きや家族のすがたを明らかにして県の施策の基礎資料とするため、平成21年度に調査を実施し、平成22年度において調査結果の詳細な分析を行った。

調査対象 奈良県内の全市町村を対象に、一般世帯の中から約1万世帯を無作為抽出。

調査方法 調査員が各世帯を訪問し、留置により調査。

調査期日 平成21年10月1日

回収結果 回収率 88.7% (調査票配布 10,285 世帯に対し、9,127 世帯が回答)

【県内地域区分図】



| 区分名 | 市 町 村 名 |
|-----------|----------------------------------------|
| 地域1 (北部) | 奈良市・大和郡山市・天理市・生駒市・山添村・川西町・三宅町・田原本町 |
| 地域2 (西部) | 平群町・三郷町・斑鳩町・安堵町・上牧町・王寺町・河合町 |
| 地域3 (中部) | 大和高田市・橿原市・御所市・香芝市・葛城市・高取町・明日香村・広陵町 |
| 地域4 (東部) | 桜井市・宇陀市・曽爾村・御杖村 |
| 地域5 (南東部) | 吉野町・大淀町・下市町・黒滝村・天川村・下北山村・上北山村・川上村・東吉野村 |
| 地域6 (南西部) | 五条市・野迫川村・十津川村 |

2. 調査全体の分析

(1) 生活行動(世帯員の生活行動)

家事・介護を主に担当する人

- ・家事を主に担当しているのは、配偶者。(82.1% うち女性は81.6%)
- ・介護を主に担当しているのも、配偶者が多いが(54.9% うち女性は54.6%)、家事に比べて、世帯主の割合も高い。(24.4% うち男性は20.1%)

図1 主に家事を担当する人

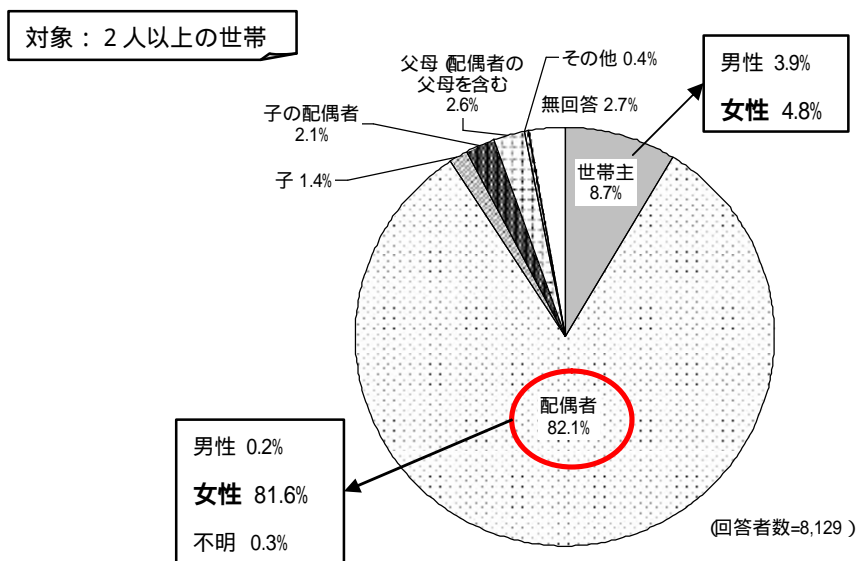
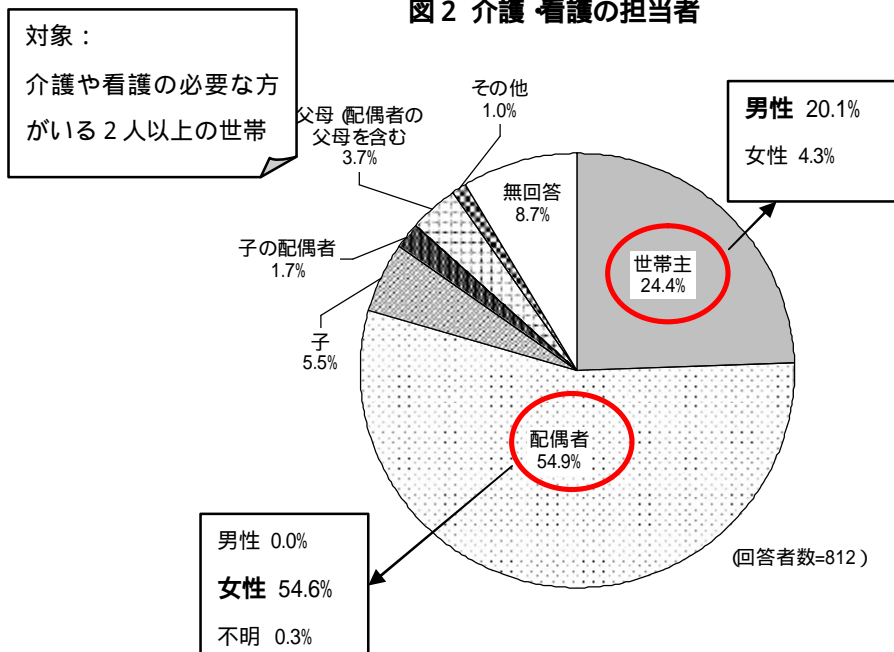


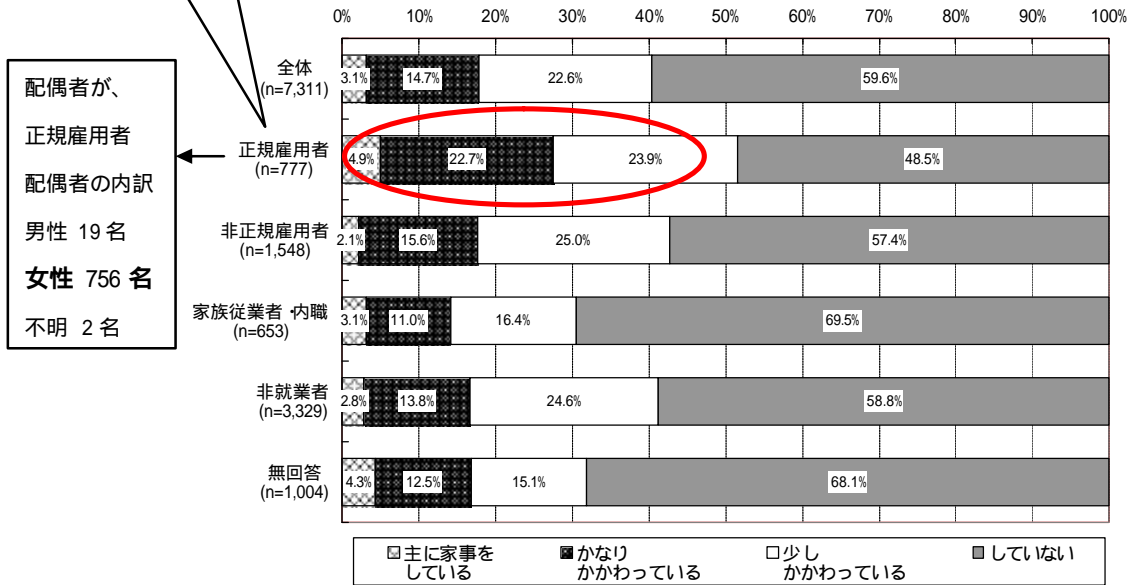
図2 介護・看護の担当者



・配偶者のいる世帯主をみると、配偶者が正規雇用者の場合、世帯主がよく家事にかかわっている。(主に家事をしている4.9%、かなりかかわっている22.7%、少しかかかわっている23.9%、合計51.5%)

世帯主が家事にかかわっている比率が高い。

図3 配偶者の就業形態別に見た世帯主の家事へのかかわり

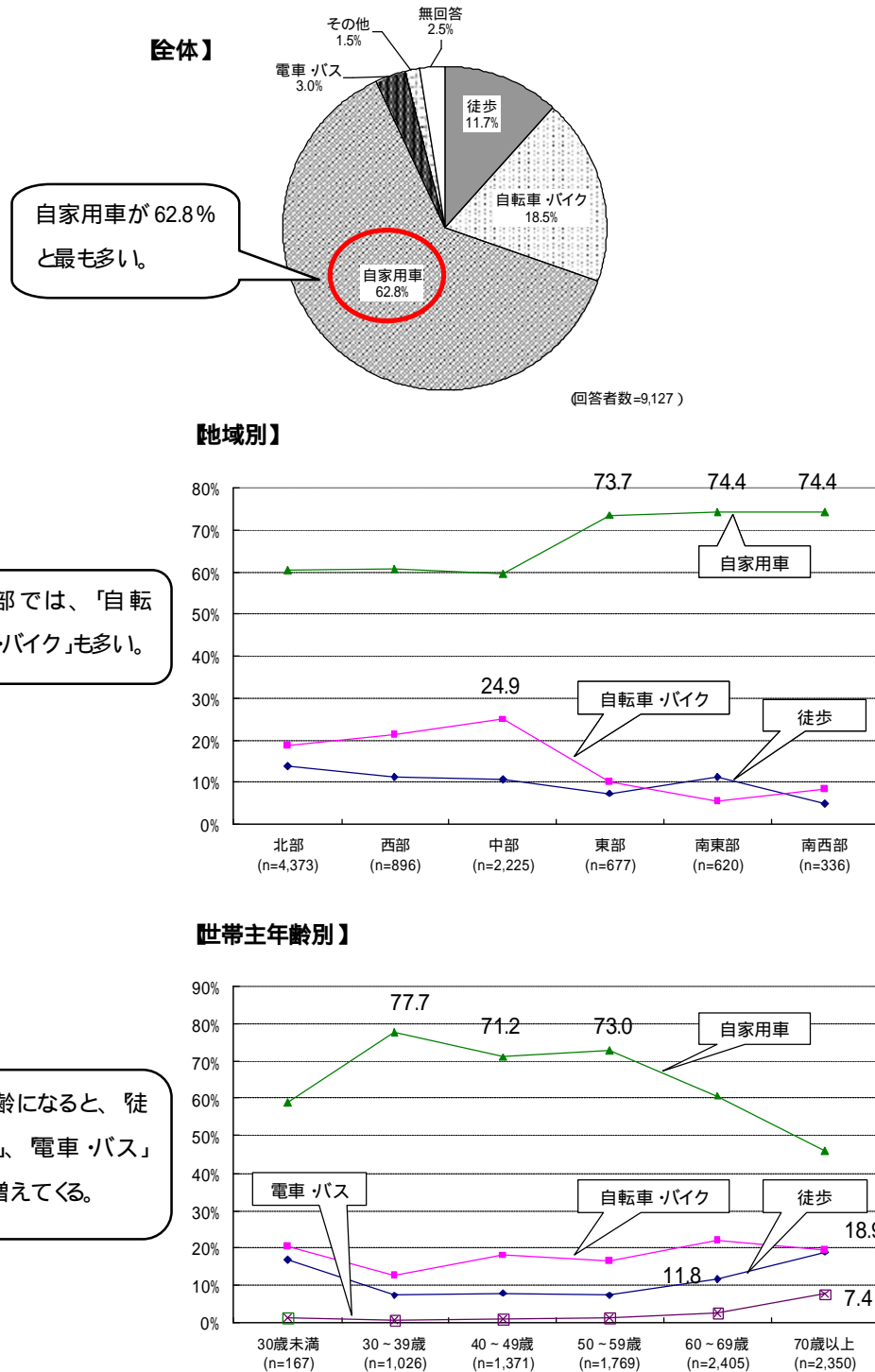


配偶者が、
正規雇用者
配偶者の内訳
男性 19名
女性 756名
不明 2名

買い物の交通手段

- ・交通手段は「自家用車」が最も多く(62.8%)、特に南東部(74.4%)・南西部(74.4%)・東部(73.7%)で高い。中部は「自転車・バイク」も多い。(24.9%)
- ・世帯主年齢別にみると、30～50歳代では「自家用車」が70%を超えている。60歳以上は「徒歩」が増え(60歳代11.8%、70歳以上18.9%)、70歳以上は「電車・バス」も増えている。(7.4%)

図4 買い物の際の主な交通手段



(2) つながり (近所づきあい・地域社会とのつながり)

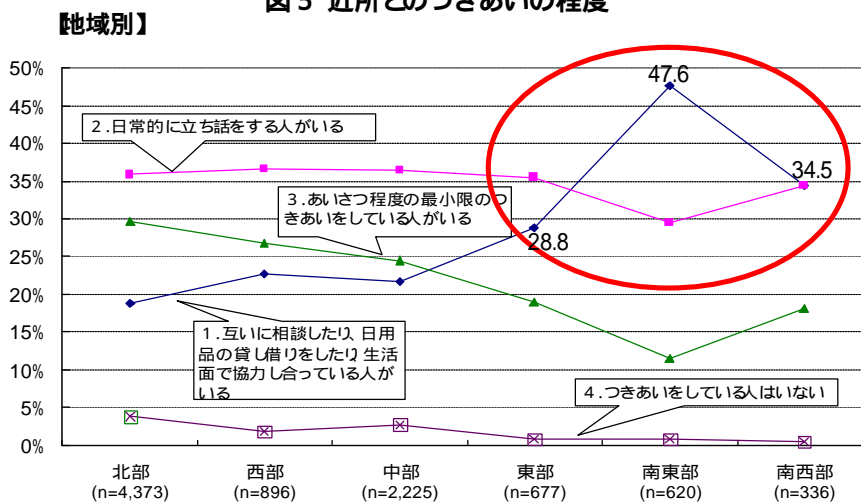
近所づきあい

- ・近所づきあいの程度が最も強い「互いに相談したり、日用品の貸し借りをしたり、生活面で協力し合っている人がいる」世帯は、南東部が最多。南東部(47.6%)、南西部(34.5%)、東部(28.8%)、西部22.8%、中部21.6%、北部18.8%
- ・年齢別では、世帯主が70歳以上が多い。(27.3%)
- ・次に強い「日常的に立ち話をする人がいる」は、60歳代が多い。(39.0%)
- ・弱いつきあいの「あいさつ程度の最小限のつきあいをしている人がいる」は、40歳代以下が多い。(30歳未満38.3%、30歳代33.5%、40歳代30.9%)
- ・「つきあいをしている人はいない」は、30歳未満が目立って多い。(21.0%)

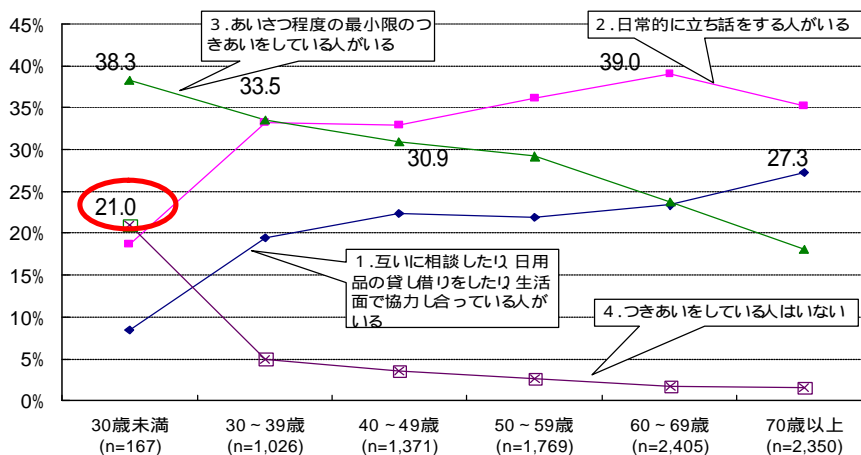
つきあいの程度

- 強 1.互いに相談したり日用品の貸し借りをしたり生活面で協力し合っている人がいる
 ↑ 2.日常的に立ち話をする人がいる
 ↓ 3.あいさつ程度の最小限のつきあいをしている人がいる
 弱 4.つきあいをしている人はいない

図5 近所とのつきあいの程度



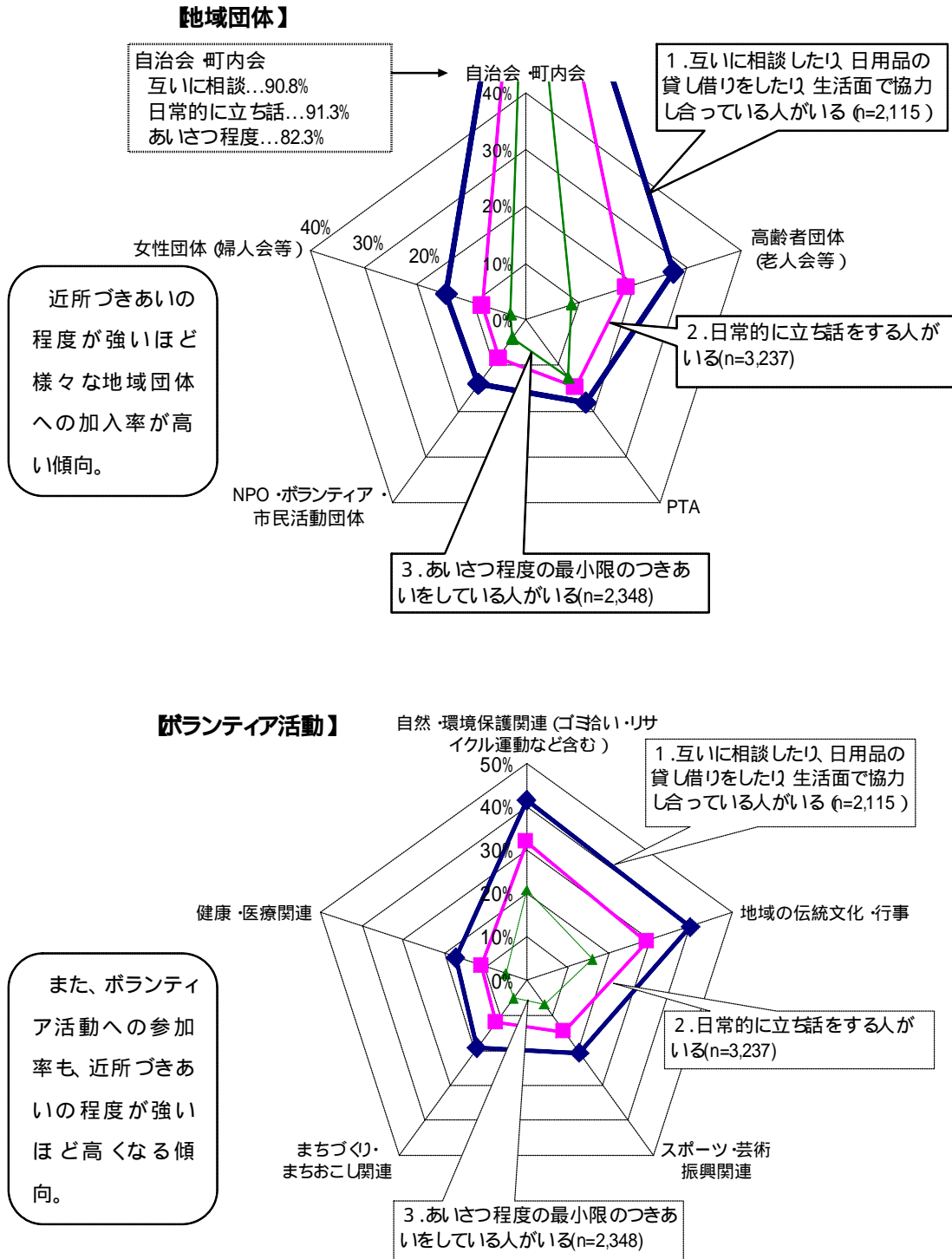
【世帯主年齢別】



近所づきあいの程度と地域社会・地域活動との関係

・近所づきあいの程度が強いほど、地域団体への加入や、ボランティア活動への参加率が高い傾向。

図6 近所づきあいの程度と地域団体・ボランティア活動への参加状況



(3) 家計の状況(収入等の経済状況)

世帯全体の収入(年間)

・年間収入は、多い順に、「200～300万円」(14.6%)、「300～400万円」(13.4%)、「400～500万円」(10.7%)。

200万円未満の世帯は14.2%。500万円未満の世帯で半数を超す(52.9%)。

一方、1,000万円以上の世帯が8.2%。

・地域別で見ると、南東部では400万円未満の世帯が、他地域より多い。

・年間収入を、世帯主年齢別で見ると、

「200～300万円」「300～400万円」は、30歳未満が最も多く、

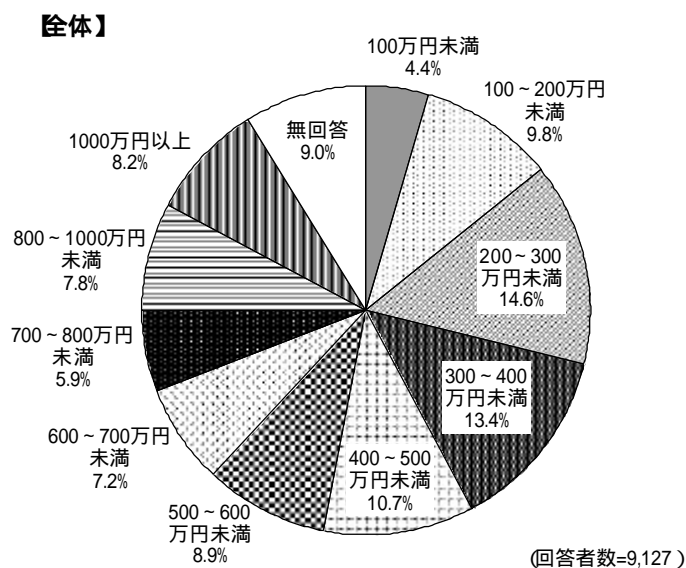
「400～500万円」「500～600万円」は、30歳代、

「600～700万円」「700～800万円」は、40歳代、

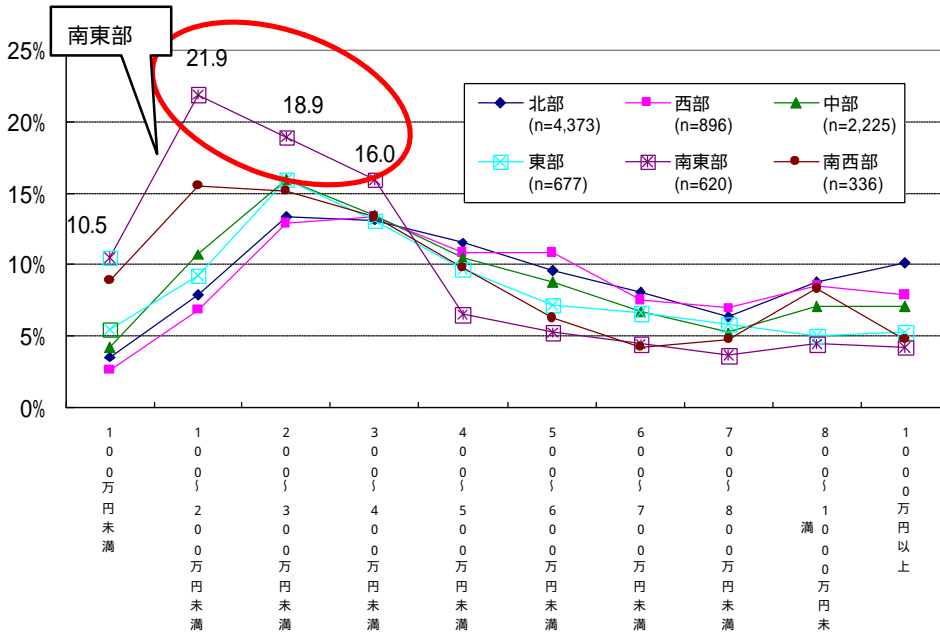
「800～1,000万円」「1,000万円以上」は、50歳代が最も多い。

年間収入には、退職金や土地・家屋、株式などの財産売却収入、相続収入など一時的な収入は含まれません。

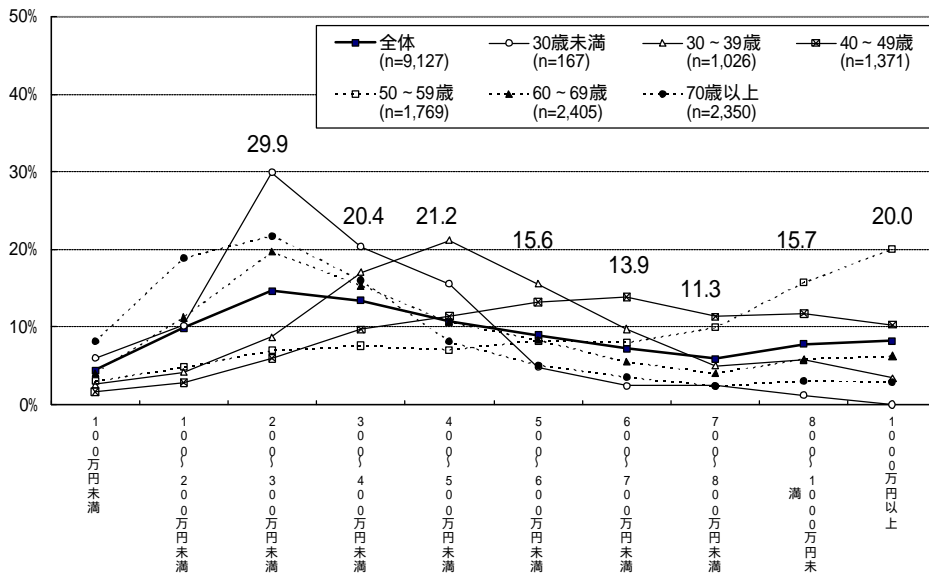
図7 世帯全体の収入



【地域別】



【世帯主年齢別】



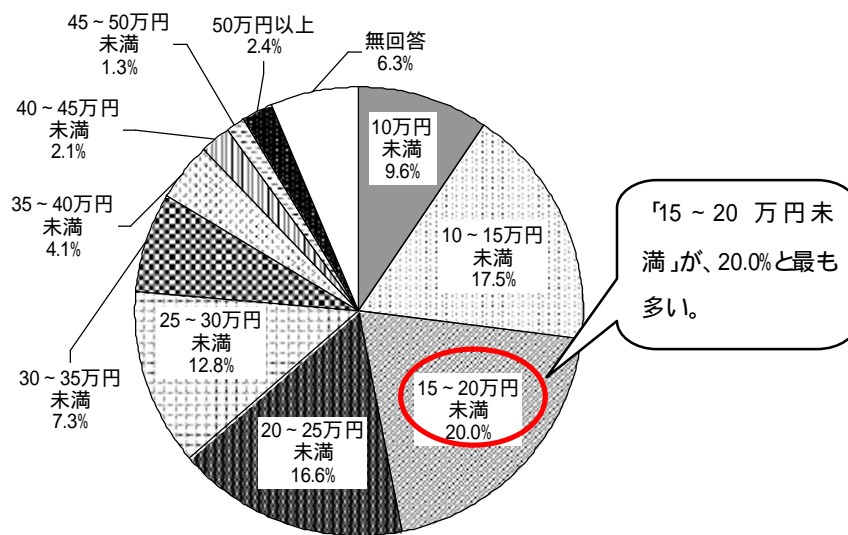
世帯全体の家計支出（一ヶ月当たり）

- ・一ヶ月当たりの家計支出は、多い順に、「15～20万円未満」（20.0%）、「10～15万円未満」（17.5%）、「20～25万円未満」（16.6%）。これに「10万円未満」（9.6%）を加えた25万円未満の世帯が、63.7%と約2 / 3を占める。
- ・地域別では、南西部と南東部が、20万円未満の世帯が他地域より多い。
（南西部 62.2%、南東部 59.9%、東部 49.7%、中部 48.7%、北部 43.7%、西部 42.7%）
- ・世帯主年齢別にみた最も多い支出額は、
30歳未満では「10～15万円未満」（34.7%）、
30歳代では「10～15万円」（23.3%）、
40歳代では「15～20万円」（19.3%）、
50歳代では「15～20万円」（17.0%）、
60歳代では「15～20万円」（20.5%）、
70歳代では「15～20万円」（21.4%）が多い。

家計支出には、税金、社会保険料、貯蓄、借金・ローン返済、掛け捨て以外の保険掛け金、事業上の支払い、などは含まれません。

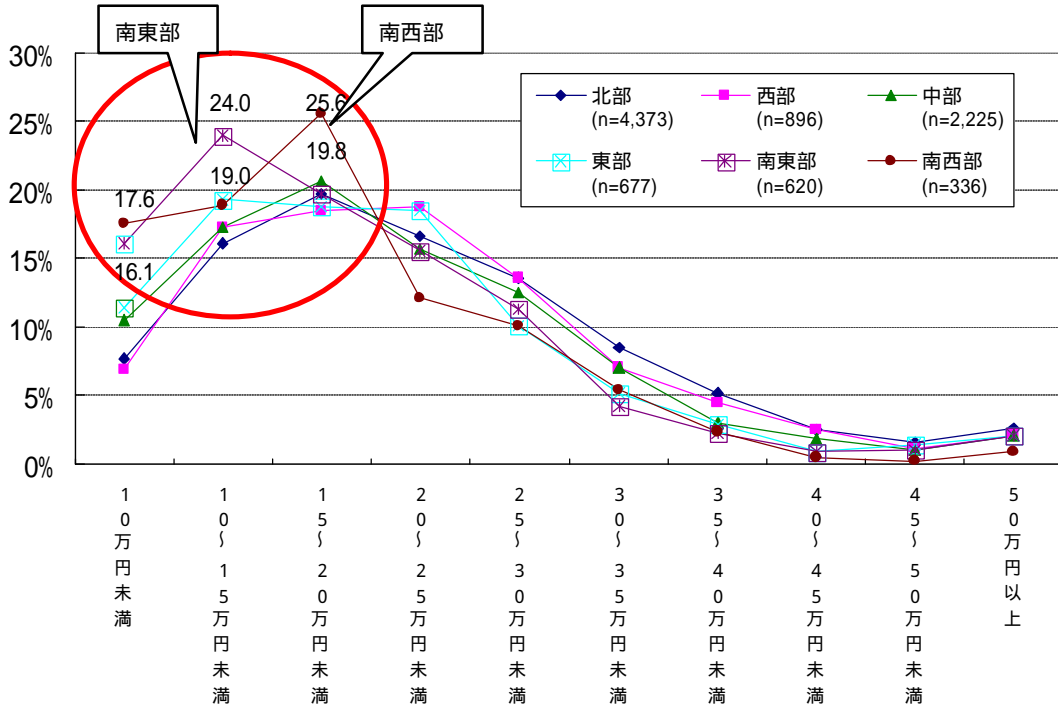
図8 世帯全体の家計支出

【全体】

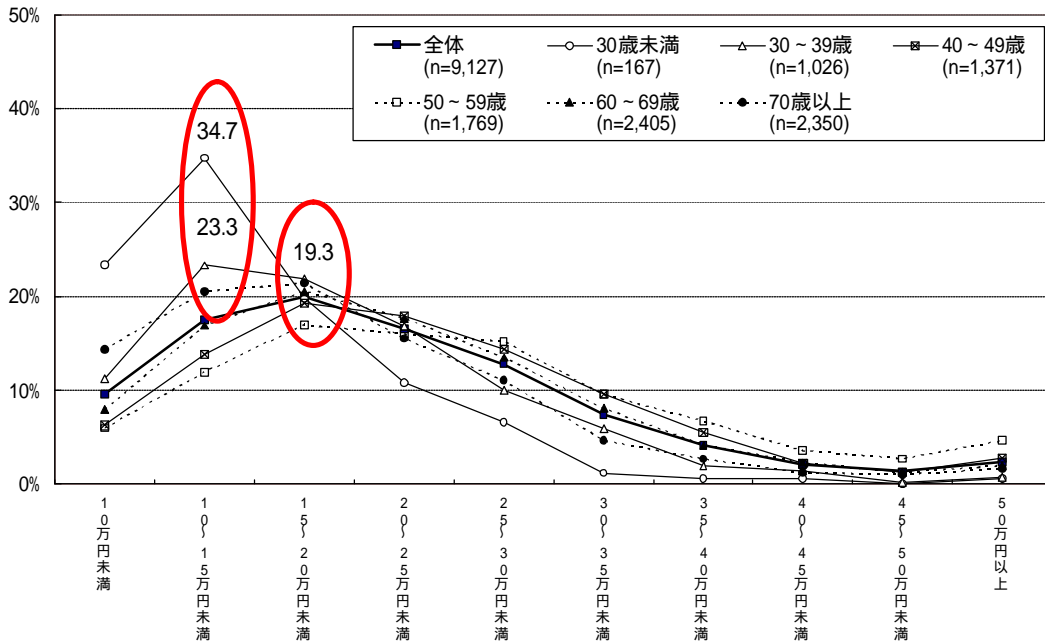


(回答者数=9,127)

【地域別】



【世帯主年齢別】



世帯全体の貯蓄

・世帯全体の貯蓄は、「貯蓄はない」が最多(13.7%)。続いて「100万円未満」(11.6%)、「200～400万円」(10.6%)。

600万円未満の世帯で、51.7%と半数以上。

一方、1,000万円以上の世帯も24.3%と約4分の1。

・地域別にみると、3,000万円以上は、西部(9.9%)と北部(8.3%)が多い。

・世帯主年齢別にみると、

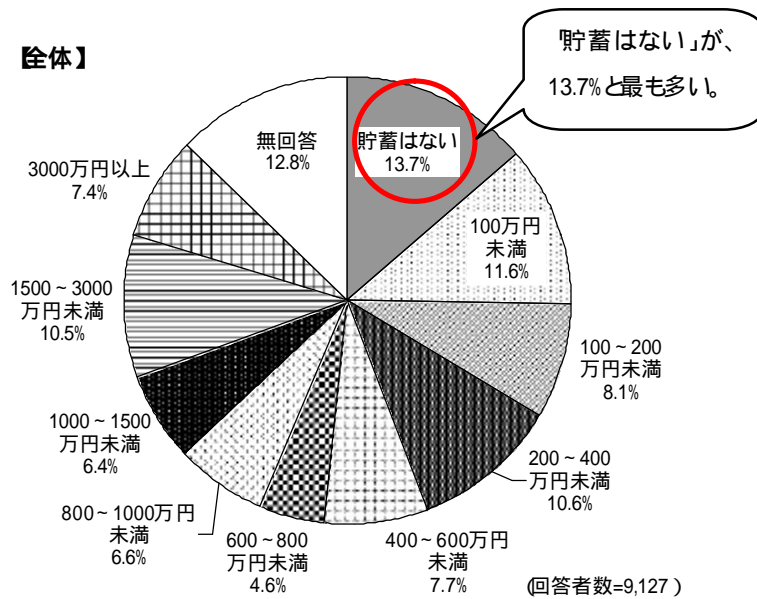
30歳未満は、「100万円未満」(37.1%)が最も多く、次に「貯蓄はない」(28.7%)。

60歳代は、「1,500～3,000万円未満」(15.8%)が最も多い。

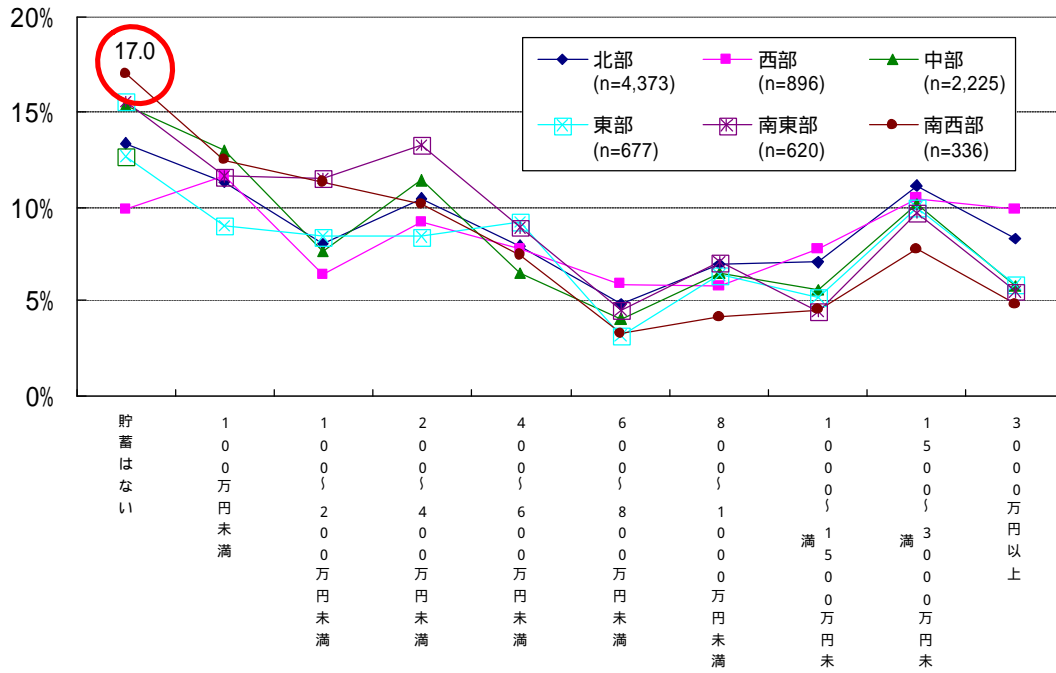
年代が上がるほど貯蓄額が増えている傾向にある。

預貯金、株式・株式投資信託(時価)、債権(額面)・公社債投資信託(時価)、社会預金などの合計金額となります。

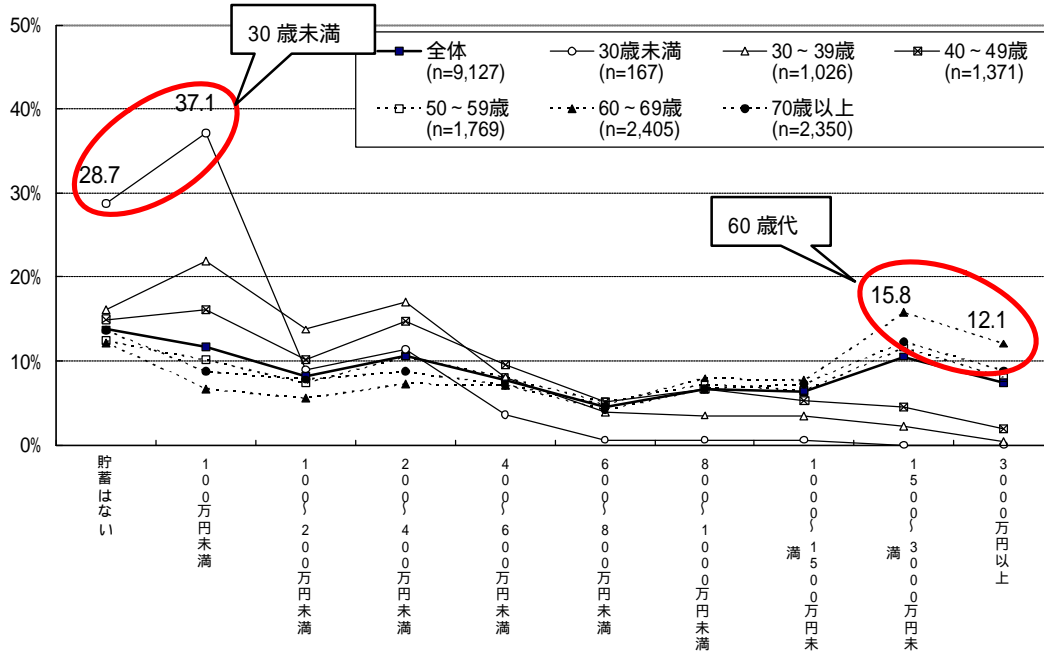
図9 世帯全体の貯蓄



【地域別】



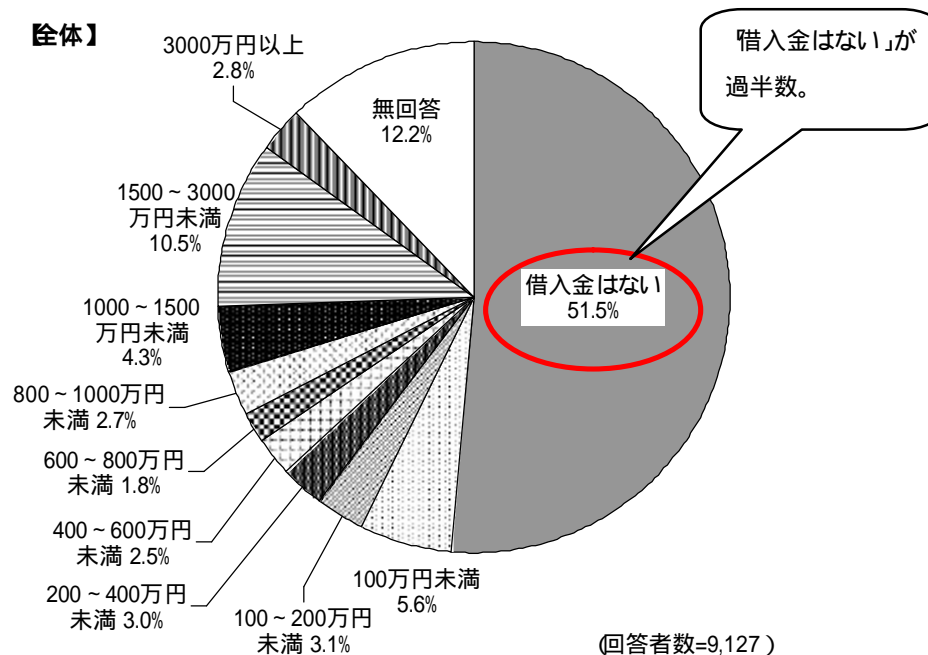
【世帯主年齢別】



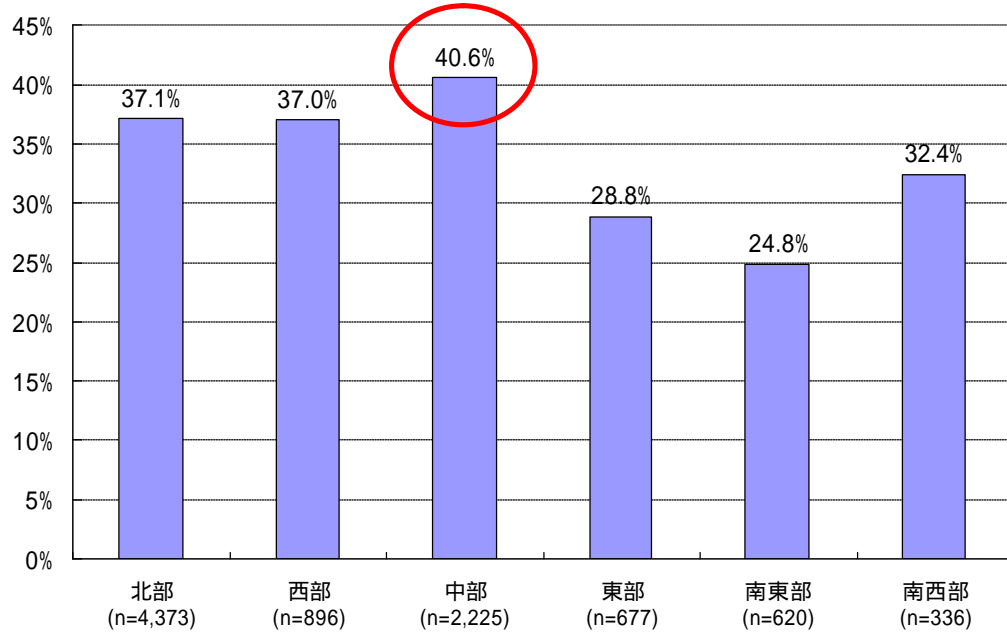
世帯全体の借入金

- ・「借入金はない」が全体の約半数(51.5%)。
- ・借入金のある世帯を、地域別にみると中部が多い。
(中部 40.6%、北部 37.1%、西部 37.0%、南西部 32.4%、東部 28.8%、南東部 24.8%)
- ・世帯主年齢別にみると、60歳代と70歳代で「借入金はない」が多い。
一方、30歳代と40歳代で「1,500～3,000万円未満」が多い。

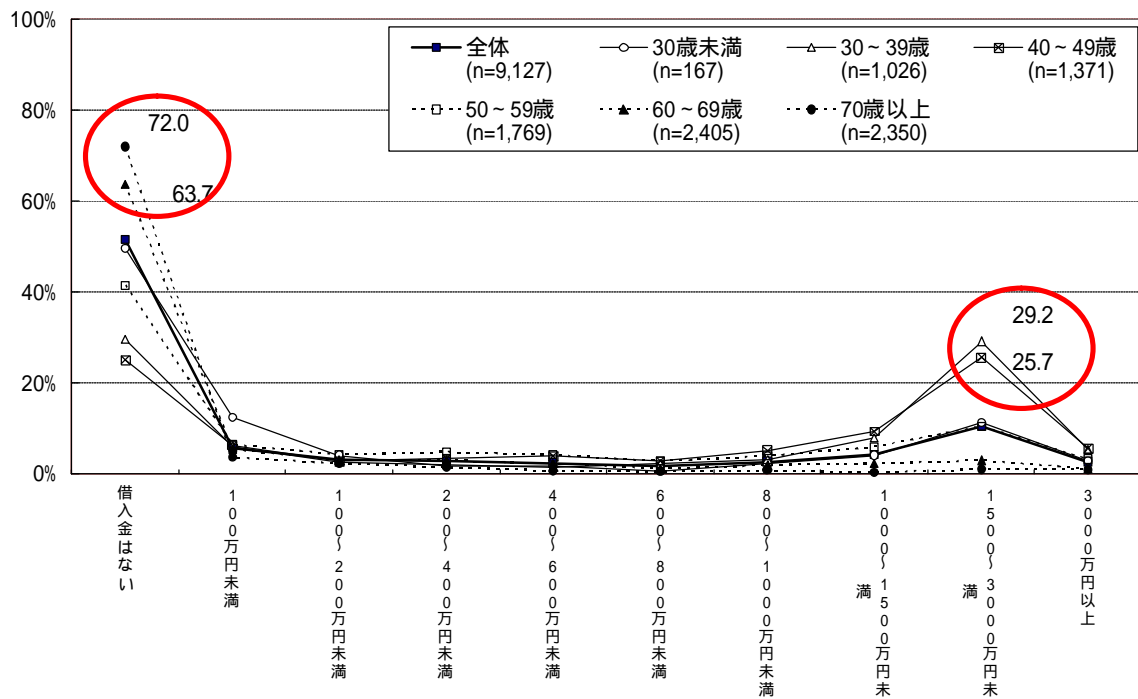
図 10 世帯全体の貯蓄



【地域別】借入金のある世帯



【世帯主年齢別】



3. テーマ別分析

(1) 家計のゆとり・苦しさに関する状況

1年間の家計の総合的な状況

・「苦しかった」(「大変苦しかった」と「やや苦しかった」)世帯で、全体の約半数を占める。(50.3%)

地域別にみると「ゆとりがあった」世帯は、西部(10.7%)と北部(10.0%)が多い。

- ・中部は、収入・支出とも際だった特徴はないが、借入金のある世帯が多い。(P14 地域別)
- ・南西部は、「貯蓄はない」世帯が最も多い。(P12 地域別)

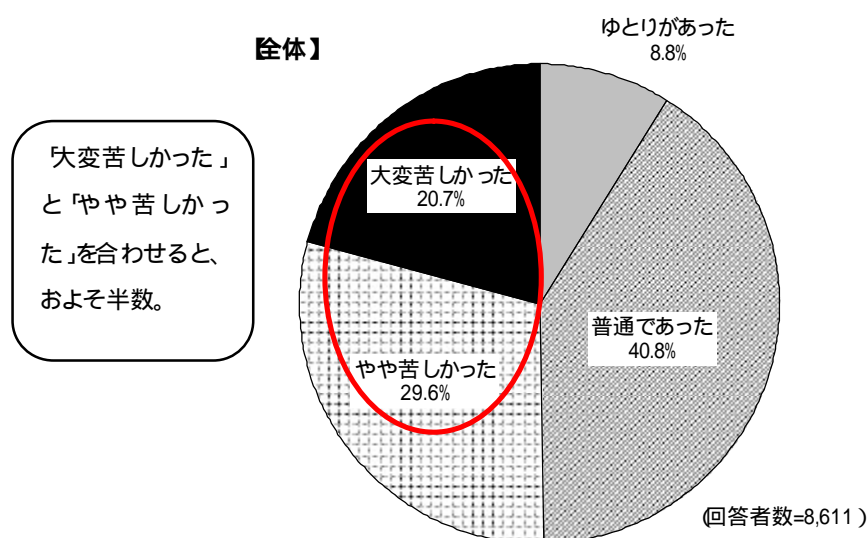
世帯主年齢別にみると、「ゆとりがあった」世帯は、60歳代(10.5%)、50歳代(9.3%)が多い。

- ・貯蓄 800 万以上は、60 歳代が最も多い。(P12 世帯主年齢別)
- ・年間収入 800 万円以上は、50 歳代が最も多い。(P8 世帯主年齢別)

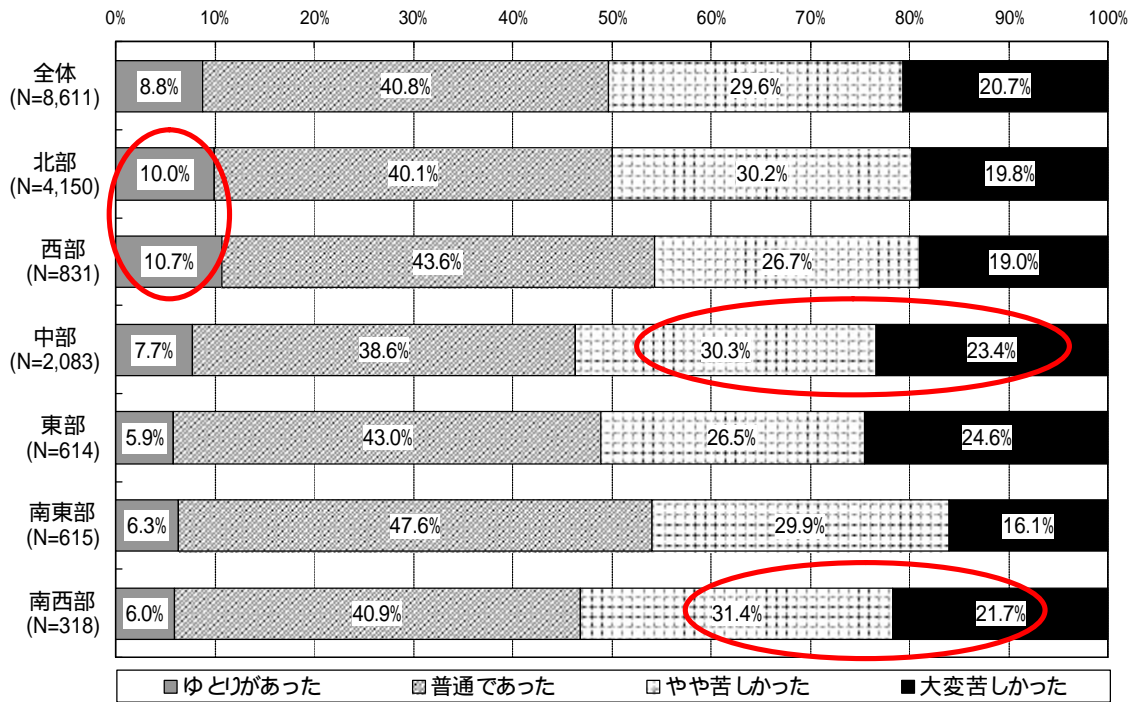
「苦しかった」世帯は、40歳代(62.5%)と30歳代(61.4%)が多い。

- ・借入金「1,500～3,000万円未満」は、30～40歳代が他の世代に比べ非常に多い。
- ・借入金「3,000万円以上」は、1位40歳代(5.6%)、2位30歳代(5.4%) (P14 世帯主年齢別)

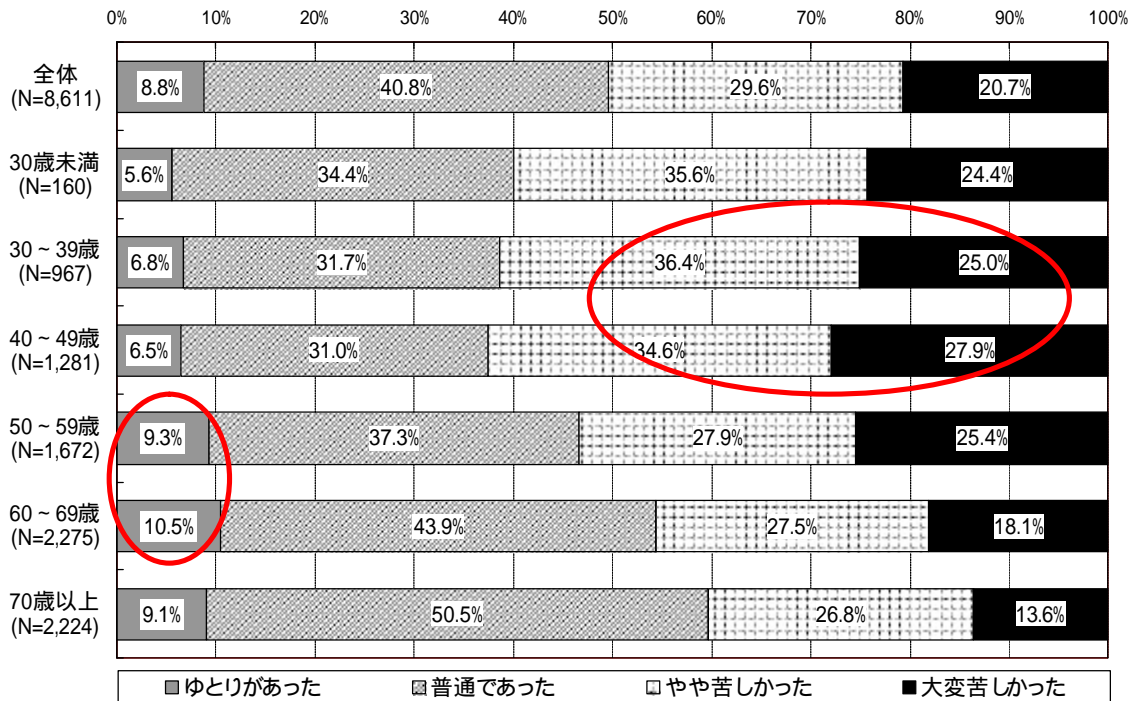
図 11 総合的な家計の状況



【地域別】



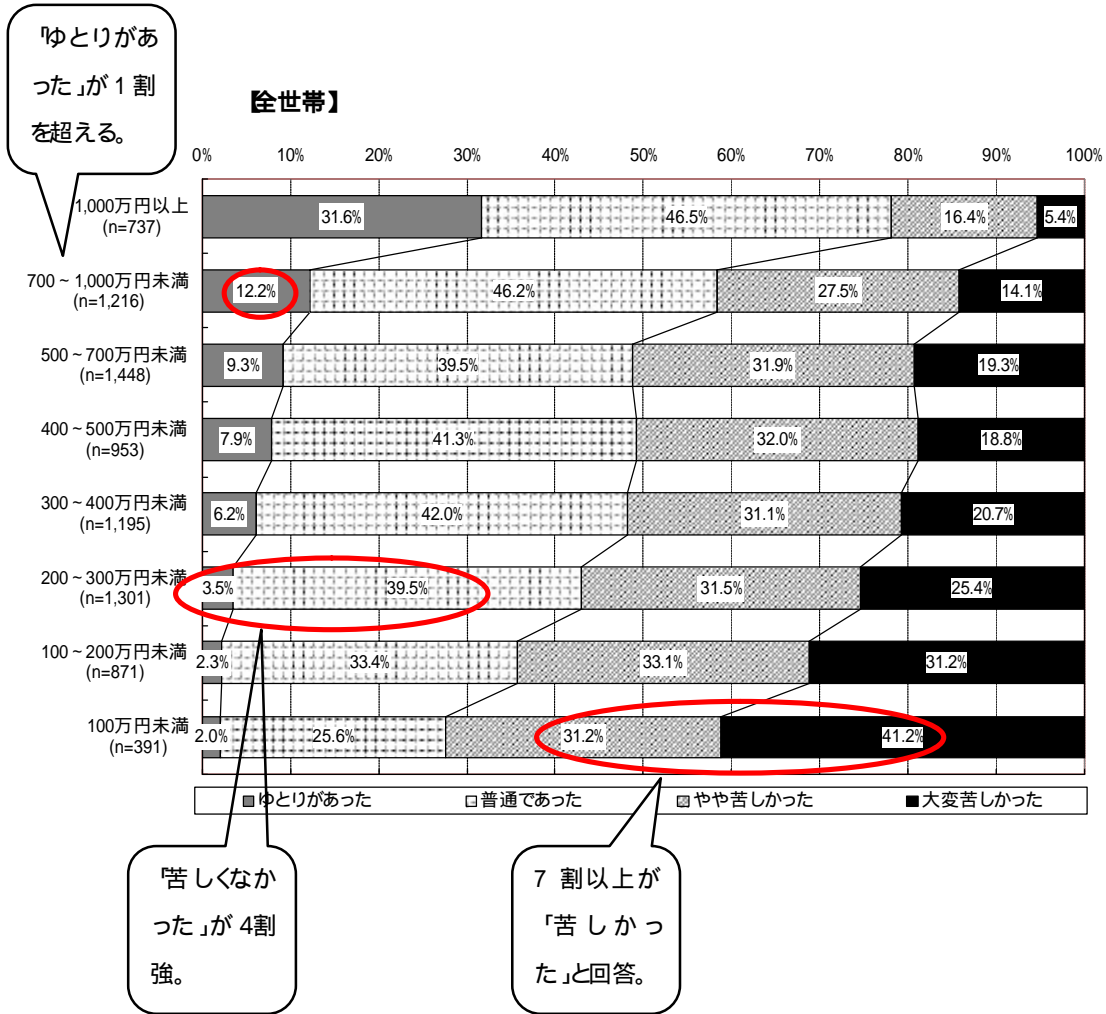
【世帯主年齢別】



家計のゆとり・苦しさの状況と収入額との関係 ... 全世帯

- ・全世帯をみると、年間収入100万円未満の世帯では、7割以上が「苦しかった」(72.4%)と回答。(「大変苦しかった」(41.2%)または「やや苦しかった」(31.2%))
- ・年間収入700万円を超えると「苦しかった」(41.6%)が、半数以下となる。
- ・「ゆとりがあった」が1割を超えるのは「700～1,000万円未満」(12.2%)。

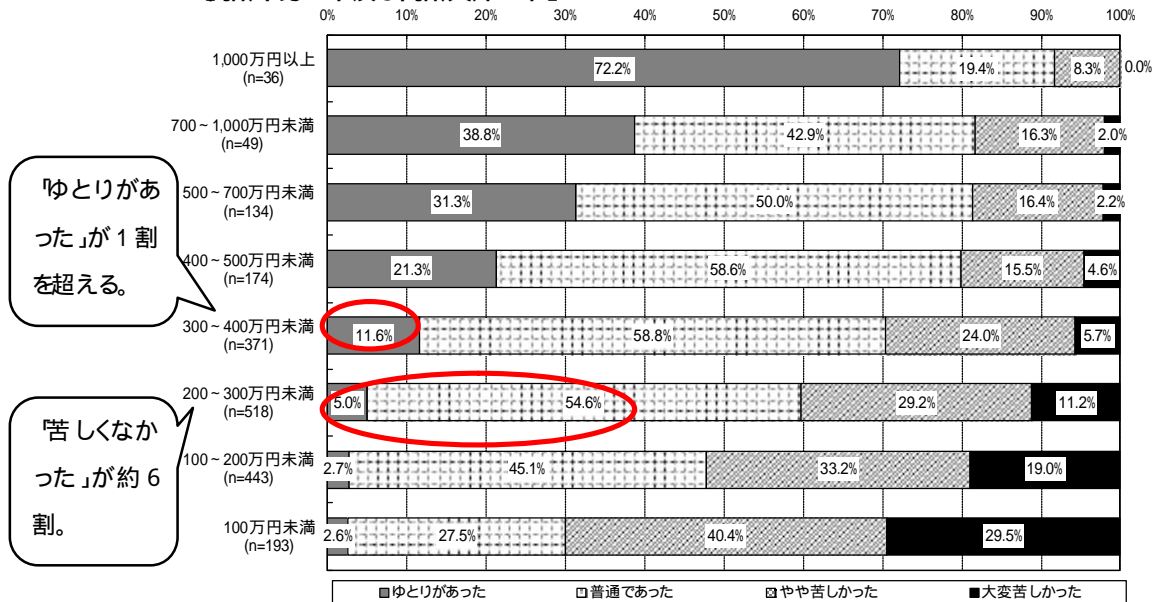
図12 年間収入別に見た家計の状況



家計のゆとり・苦しさの状況と収入額との関係 ... 高齢者世帯

- ・高齢者世帯（高齢単身世帯、高齢夫婦世帯）だけを見ると、年間収入200万円を超えると「苦しかった」（40.4%）が、半数以下となる。
- ・「ゆとりがあった」が、はじめて1割を超えるのは「300～400万円未満」（11.6%）。

【高齢単身世帯及び高齢夫婦世帯】



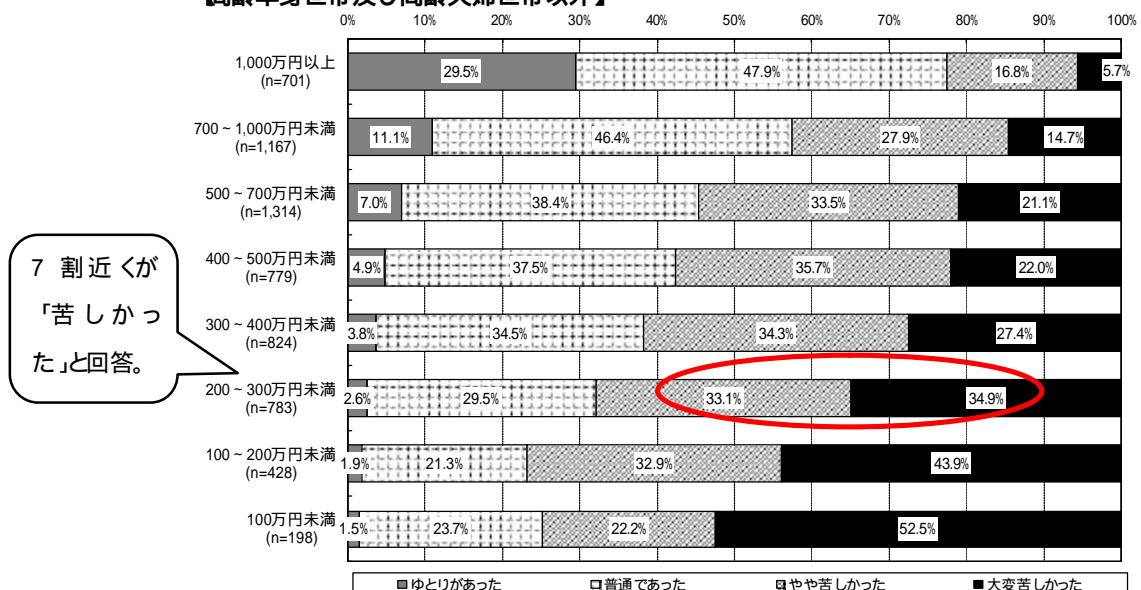
「ゆとりがあった」が1割を超える。

「苦しくなかった」が約6割。

家計のゆとり・苦しさの状況と収入額との関係 ... 高齢者世帯以外

- ・高齢単身世帯、高齢夫婦世帯を除く世帯をみると、年間収入「200～300万円未満」の世帯の7割以上が「苦しかった」（68.0%）と回答。
- ・年間収入700万円を超えると「苦しかった」（42.6%）が、半数以下となる。
- ・「ゆとりがあった」が、はじめて1割を超えるのは「700～1,000万円未満」（11.1%）。
- ・年間収入の上昇に応じて、「苦しかった」が段階的に減少する傾向にある。

【高齢単身世帯及び高齢夫婦世帯以外】

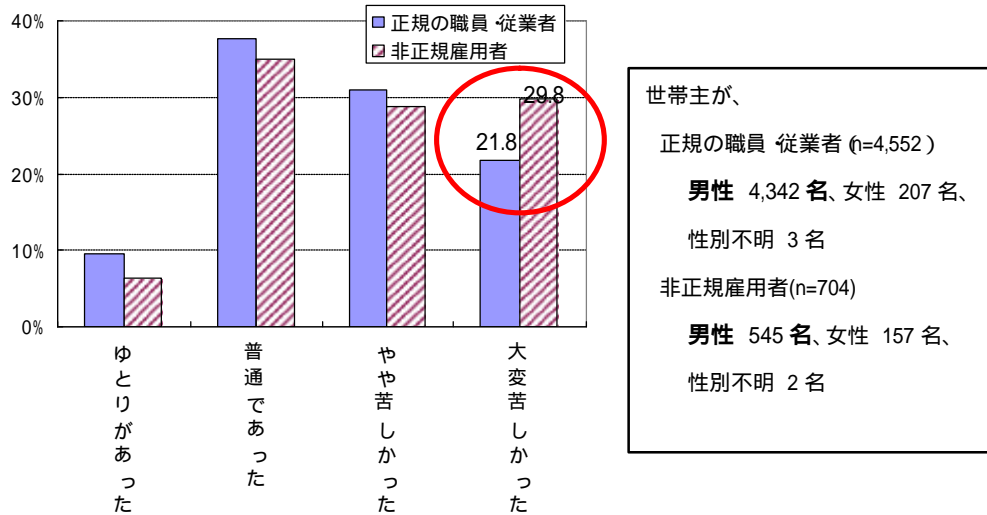


7割近くが「苦しかった」と回答。

家計のゆとり・苦しさの状況と就業状況との関係

・「大変苦しかった」世帯は、世帯主が「非正規雇用者」が多い。(29.8%)

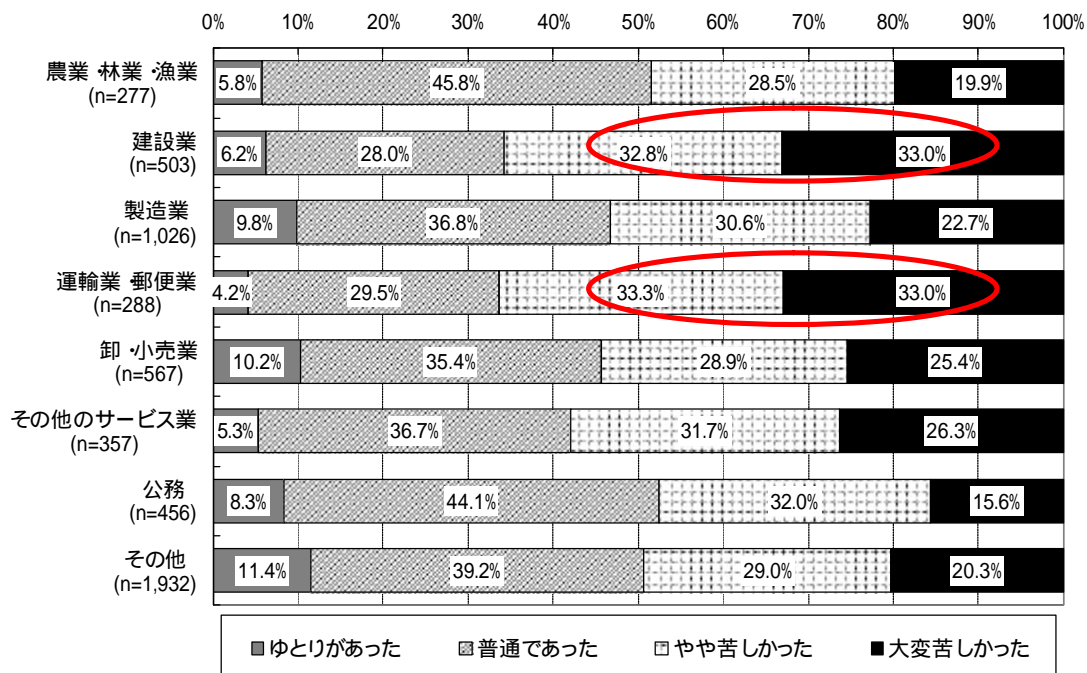
図 13 世帯主の就業形態別に見た状況家計の状況



家計のゆとり・苦しさの状況と就労先の産業

・「苦しかった」世帯の世帯主の就業先をみると、最も多いのが「運輸業・郵便業」(66.3%)、次に「建設業」(65.8%)。

図 14 世帯主の就業先の産業別に見た状況家計の状況



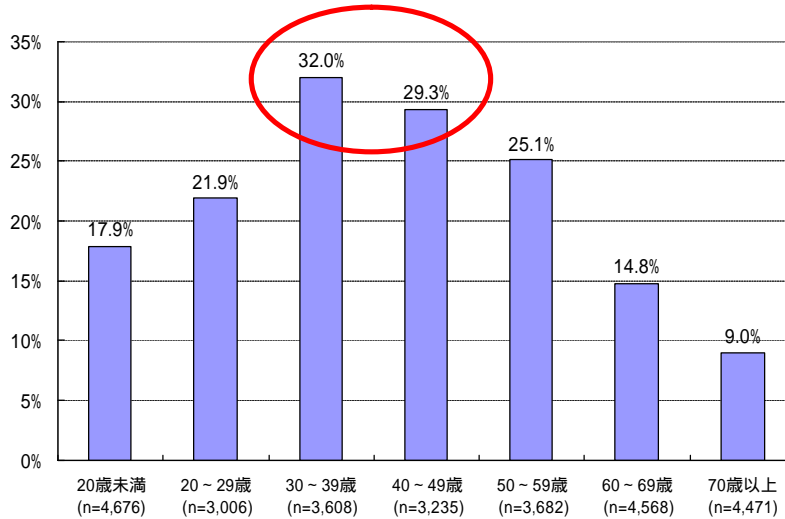
(2) 「5つの構想案」に関連するデータ

健やかに生きる

(余暇の取得状況)

・余暇について「あまり取れなかった」のは、30歳代(32.0%)、40歳代(29.3%)が多い。

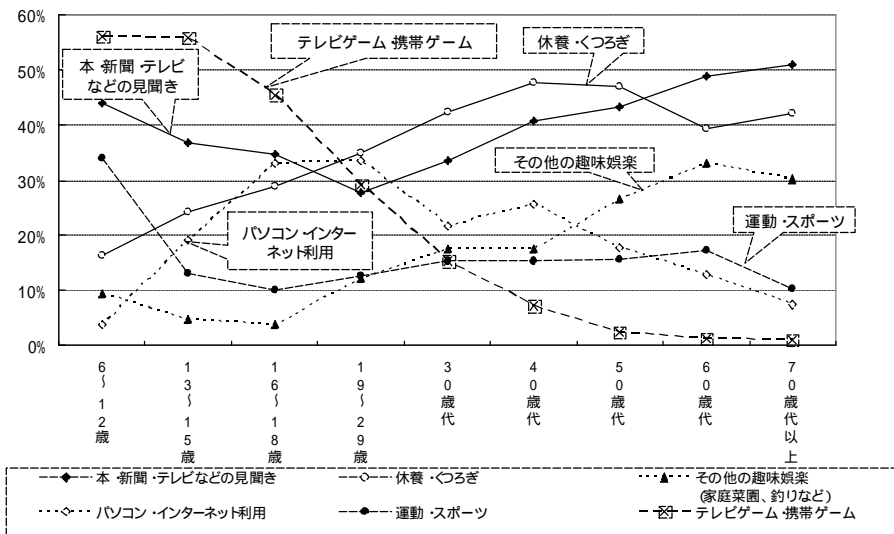
図15 余暇について「あまり取れなかった」と回答した年齢別の比率



(余暇の過ごし方・休日・男性)

・19歳以上50歳代において、「休養・くつろぎ」が最も多い。
 ・6～18歳は、「テレビゲーム・携帯ゲーム」が最も多い。
 ・「パソコン・インターネット利用」が多いのは16～29歳。
 ・「運動・スポーツ」は、6～12歳を除く各年代とも20%以下にとどまっている。

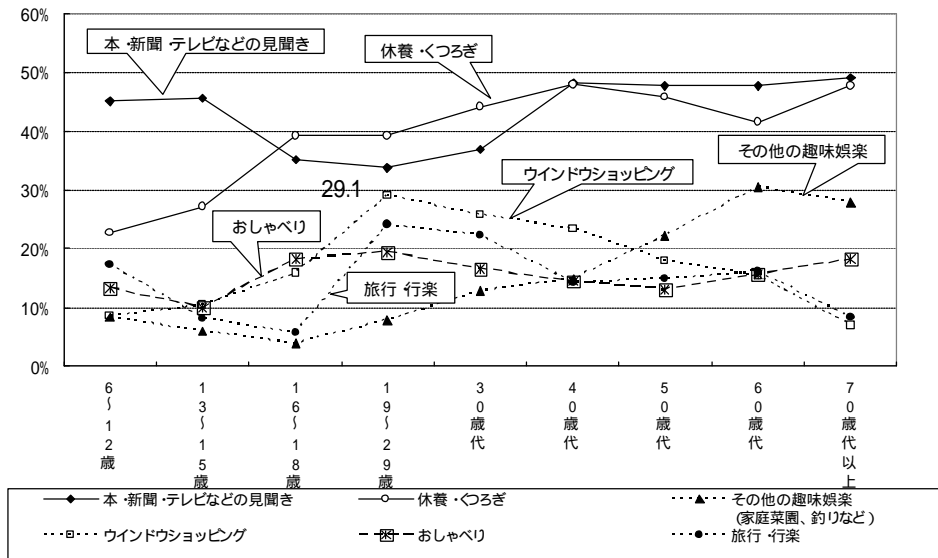
図16 余暇・自由時間の過ごし方(休日・男性)上位6項目



(余暇の過ごし方・休日・女性)

- ・どの年代も、「本・新聞・テレビなどの見聞き」と「休養・くつろぎ」が上位2位を占める。
- ・「おしゃべり」「ウインドウショッピング」が上位に上がっているのが男性に見られない特徴。
- ・「ウインドウショッピング」については、19~29歳(29.1%)をピークに年代が上がるにつれ下がっていく傾向。

図17 余暇・自由時間の過ごし方(休日・女性)上位6項目

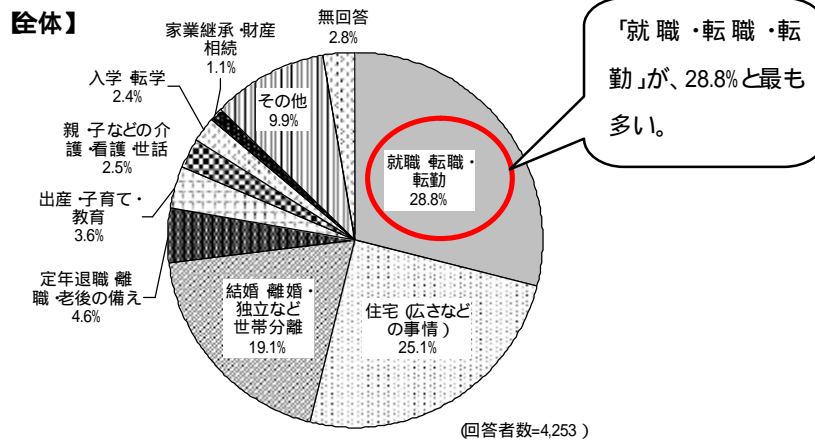


奈良に暮らす

(奈良県に住むようになったきっかけ)

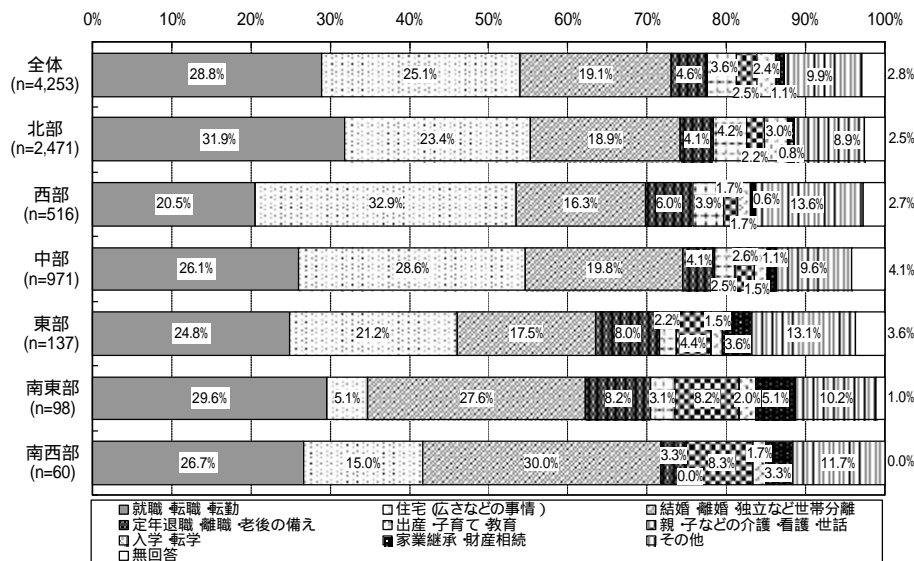
・県外の方が奈良県に転居したきっかけは、「就職・転職・転勤」(28.8%)、「住宅(広さなどの事情)」(25.1%)、「結婚・離婚・独立など世帯分離」(19.1%)などが多く、この3項目を併せると3 / 4近くを占める。(73.0%)

図 18 世帯主が奈良県に住むようになったきっかけ



- ・地域別にみたきっかけの1位と2位は、
- 北部・東部 ...1位「就職・転職・転勤」、2位「住宅(広さなどの事情)」
- 西部・中部 ...1位「住宅(広さなどの事情)」、2位「就職・転職・転勤」
- 南東部 ...1位「就職・転職・転勤」、2位「結婚・離婚・独立など世帯分離」
- 南西部 ...1位「結婚・離婚・独立など世帯分離」、2位「就職・転職・転勤」

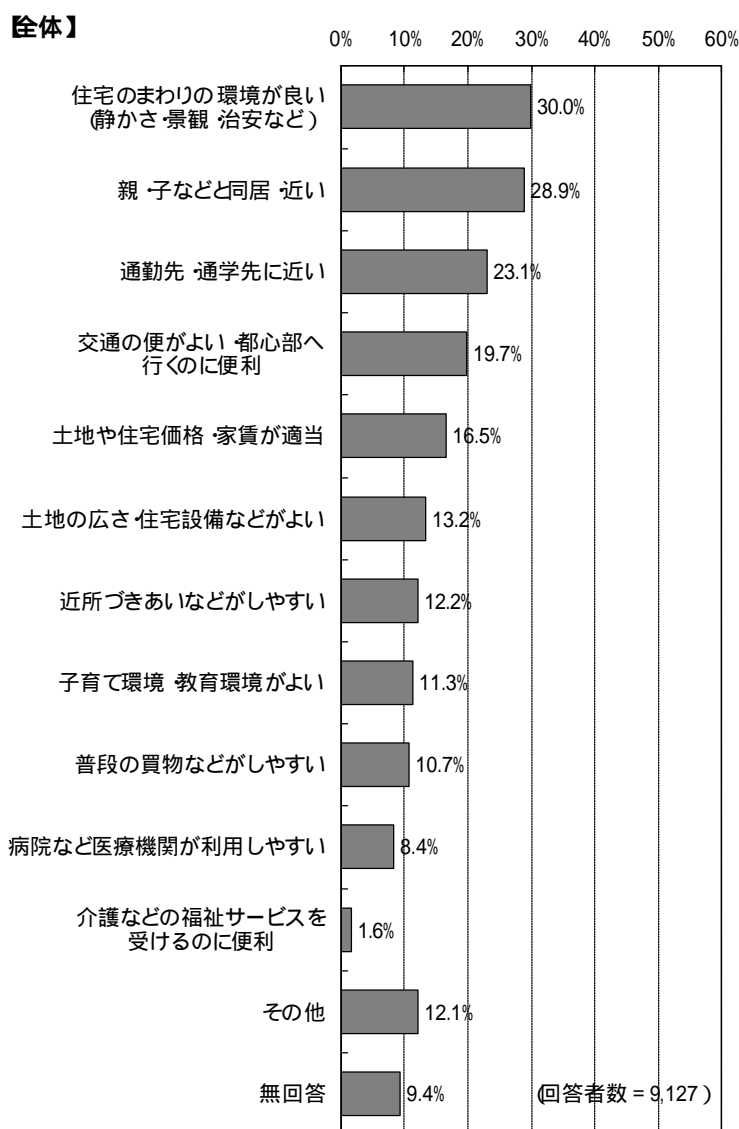
【地域別】



(奈良県に住もうと決めた、また住み続けている理由)

- ・全体では、
 - 1位「住宅のまわりの環境が良い(静かさ・景観・治安など)」(30.0%)、
 - 2位「親・子など同居・近い」(28.9%)、
 - 3位「通勤先・通学先に近い」(23.1%)
 などの理由が多い。

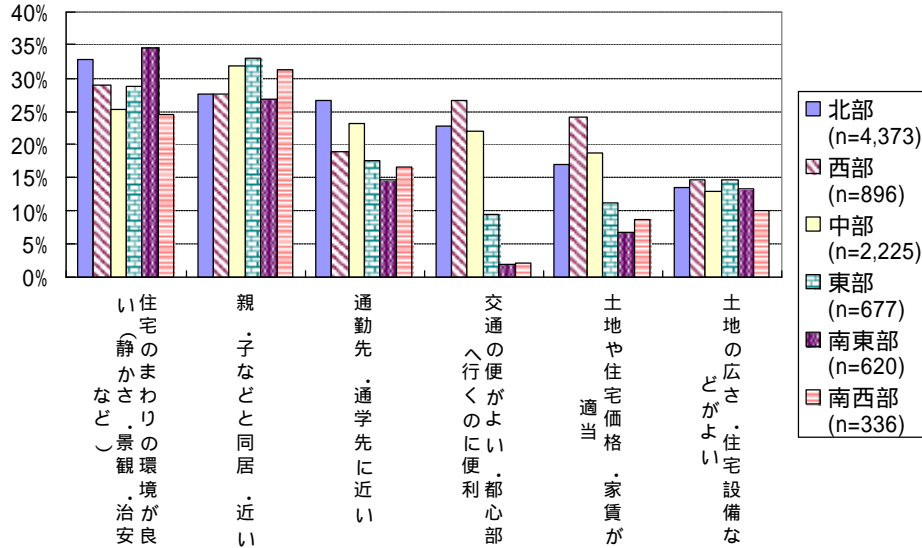
図 19 奈良県に住もうと決めた理由 (複数回答)



理由の上位4項目について、地域別の1位、2位をみると、

- ・住宅のまわりの環境が良い ...1位 南東部 34.5%、 2位 北部 32.8%
- ・親・子など同居・近い ...1位 東部 32.9%、 2位 中部 31.3%
- ・通勤先・通学先に近い ...1位 北部 26.7%、 2位 中部 23.1%
- ・交通の便がよい・都心部へ行くのに便利 ...1位 西部 26.7%、 2位 北部 22.9%

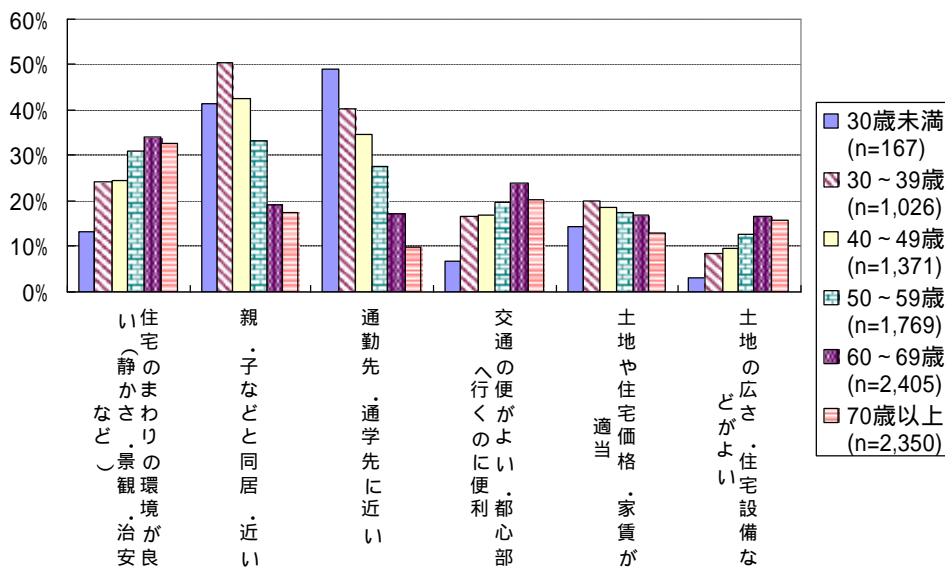
【地域別】



理由の上位4項目について、世帯主年齢別の1位、2位をみると、

- ・住宅のまわりの環境が良い ...1位 60歳代 33.9%、 2位 70歳以上 32.6%
- ・親・子など同居・近い ...1位 30歳代 50.4%、 2位 40歳代 42.6%
- ・通勤先・通学先に近い ...1位 30歳未満 49.1%、 2位 30歳代 40.5%
- ・交通の便がよい・都心部へ行くのに便利 ...1位 60歳代 23.7%、 2位 70歳以上 20.3%

【世帯主年齢別】

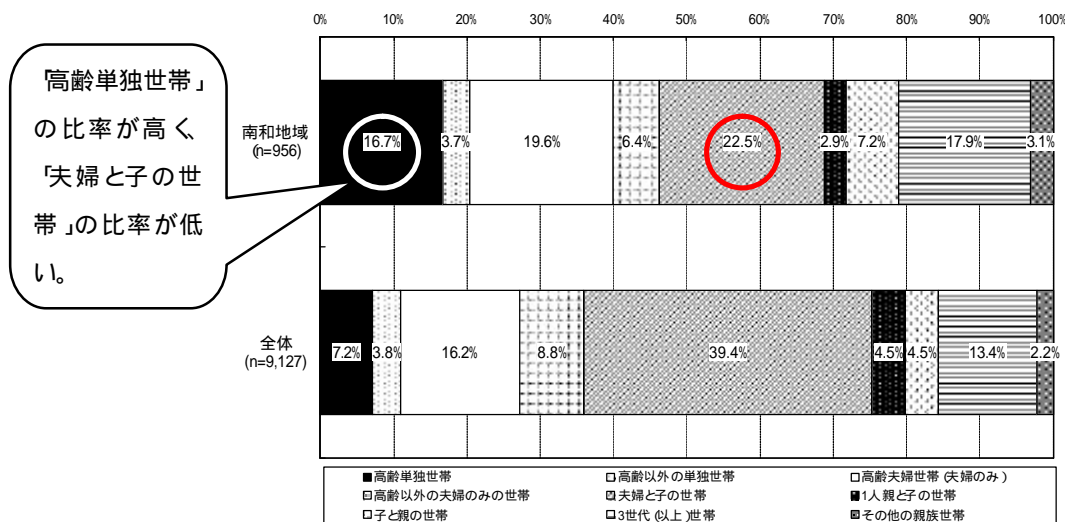


(3) 南和地域のくらしの特徴

世帯類型

- ・南和地域と、県全体を比べると、
 「高齢単独世帯」(16.7%)は、2倍以上の割合。
 「高齢世帯」(36.3%) (「高齢単独世帯」、「高齢夫婦世帯」)も、12.9%上回っている。
 「夫婦と子の世帯」(22.5%)については、16.9%下回っている。

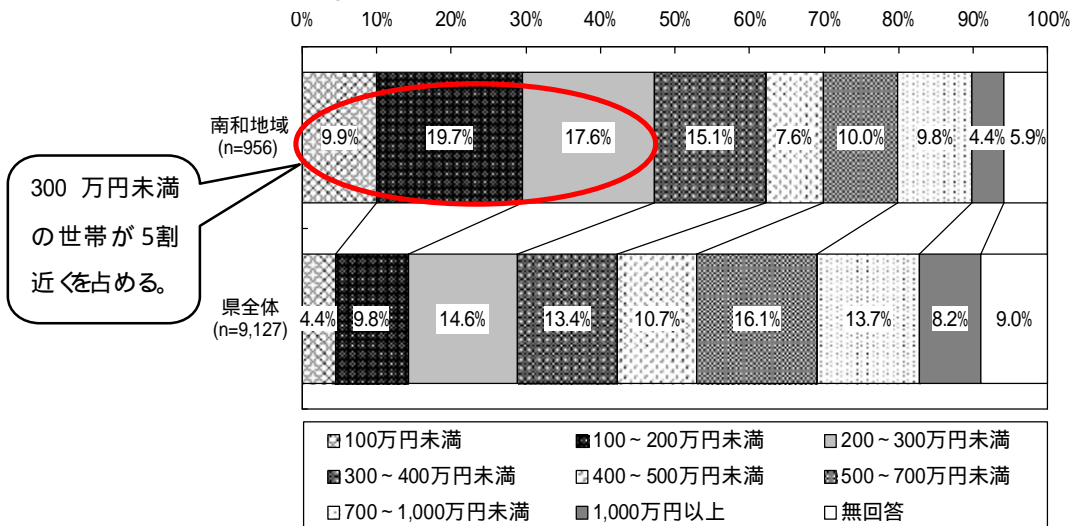
図 20 世帯類型



年間収入 ... 全世帯

- ・年間収入を、全世帯でみると、
 100万円未満の世帯は、県全体が4.4%に対し、南和地域では9.9%。
 300万円未満の世帯は、県全体が約3割(28.8%)に対し、南和地域では約5割(47.2%)。

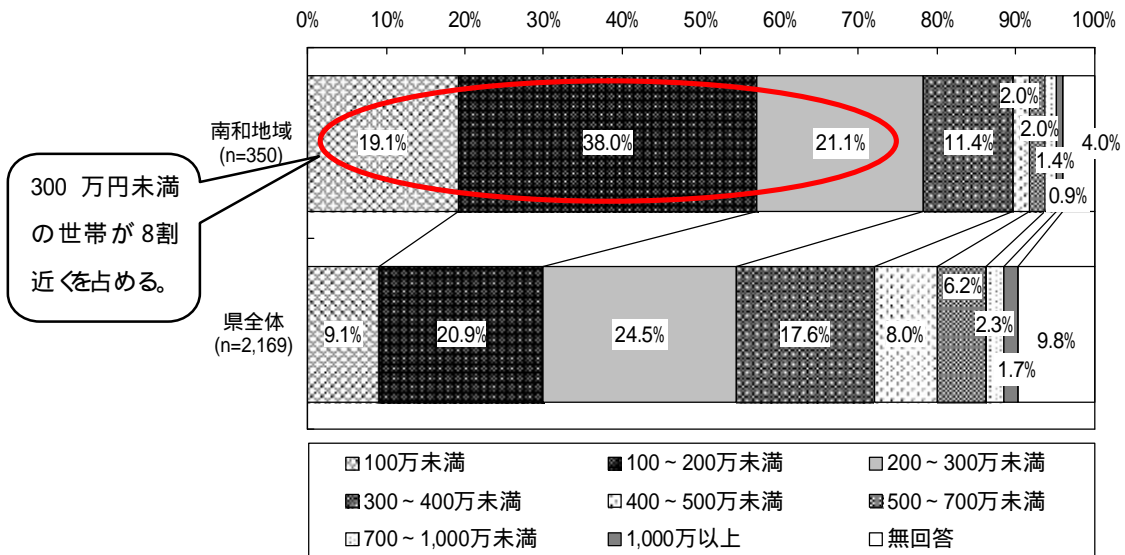
図 21 年間収入(税込)の状況



年間収入 ... 高齢者世帯

- ・年間収入を、高齢者世帯（高齢単身世帯、高齢夫婦世帯）だけでみると、100万円未満の世帯は、県全体が9.1%に対し、南和地域では19.1%。
300万円未満の世帯は、県全体が約5割(54.5%)に対し、南和地域では約8割(78.2%)。

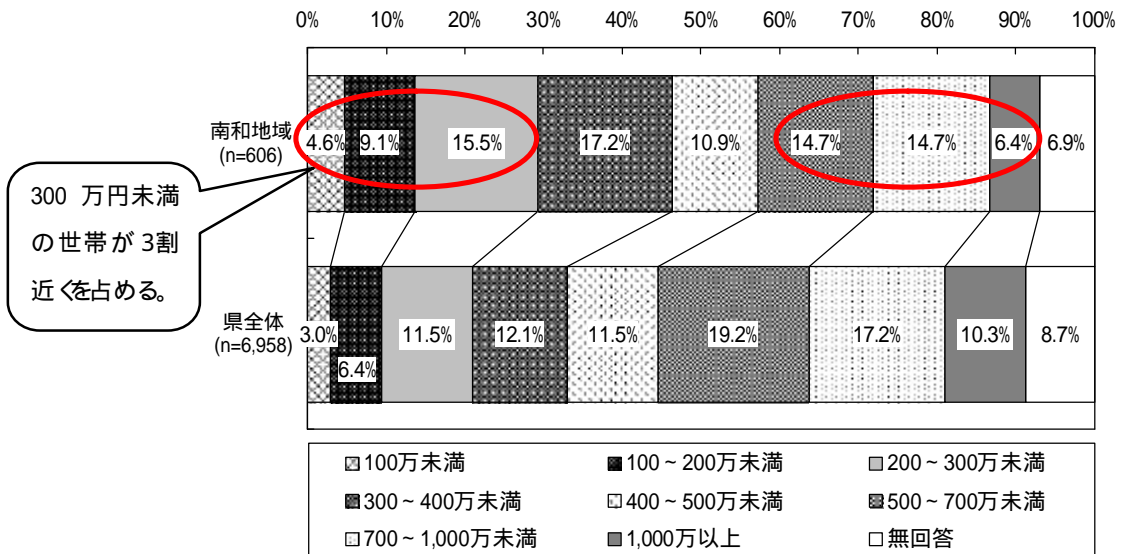
【高齢単身世帯及び高齢夫婦世帯】



年間収入 ... 高齢者世帯以外

- ・年間収入を、高齢単身世帯、高齢夫婦世帯を除く世帯でみると、300万円未満の世帯は、県全体が約2割(20.9%)に対し、南和地域では約3割(29.2%)。
500万円以上の世帯は、県全体が約5割(46.7%)に対し、南和地域では約4割(35.8%)。

【高齢単身世帯及び高齢夫婦世帯以外】



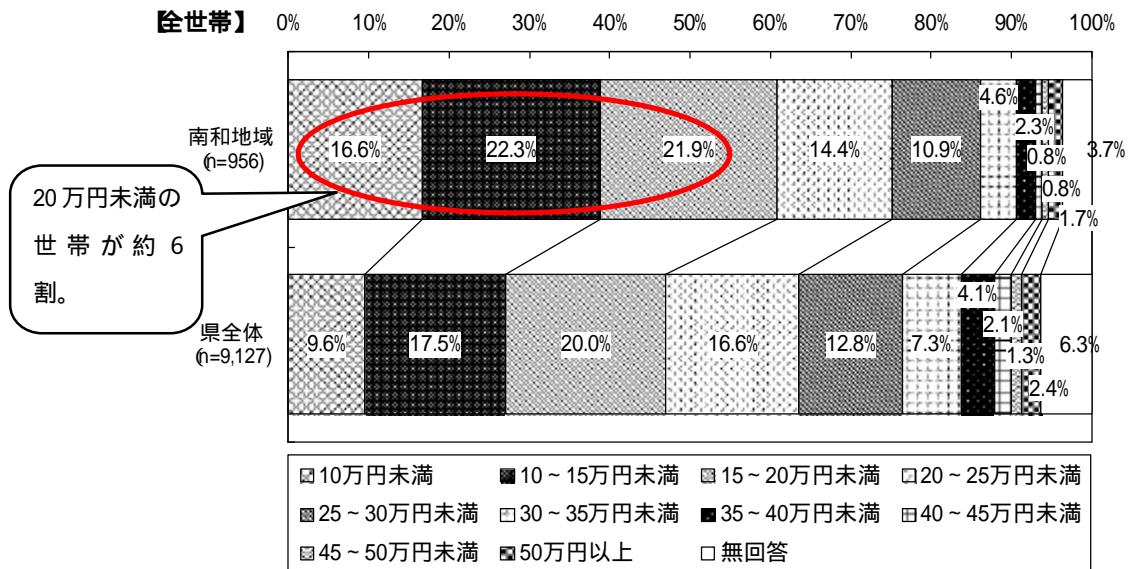
月間支出 ... 全世帯

・月間支出を、全世帯でみると、

10万円未満の世帯は、県全体が9.6%に対し、南和地域では16.6%。

20万円未満の世帯は、県全体が約5割(47.1%)に対し、南和地域では約6割(60.8%)。

図22 月間支出(税込)の状況



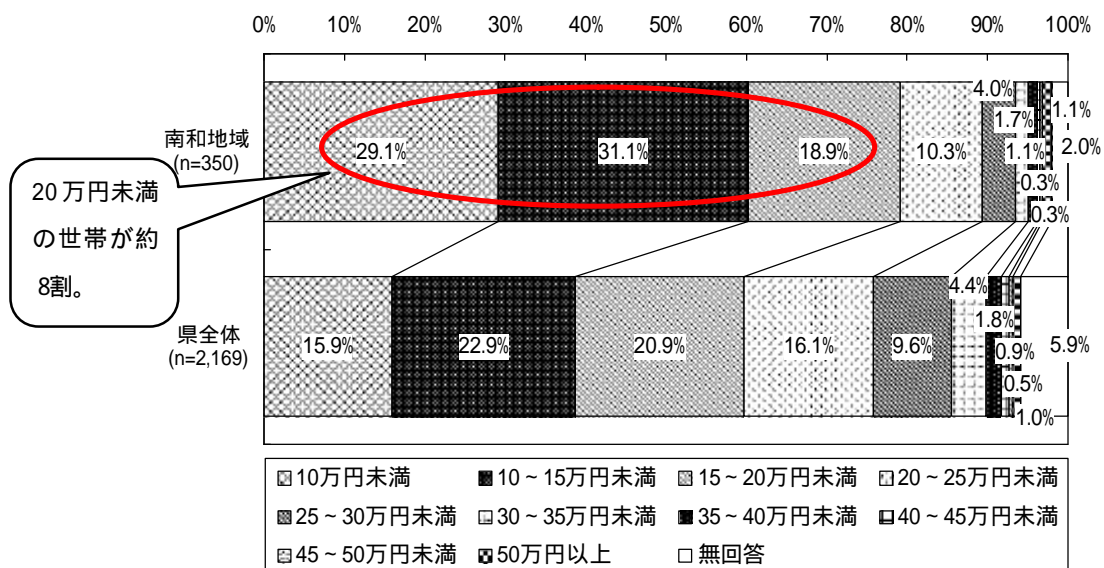
月間支出 ... 高齢者世帯

・月間支出を、高齢者世帯(高齢単身世帯、高齢夫婦世帯)だけでみると、

10万円未満の世帯は、県全体が15.9%に対し、南和地域では29.1%。

20万円未満の世帯は、県全体が約6割(59.7%)に対し、南和地域では約8割(79.1%)。

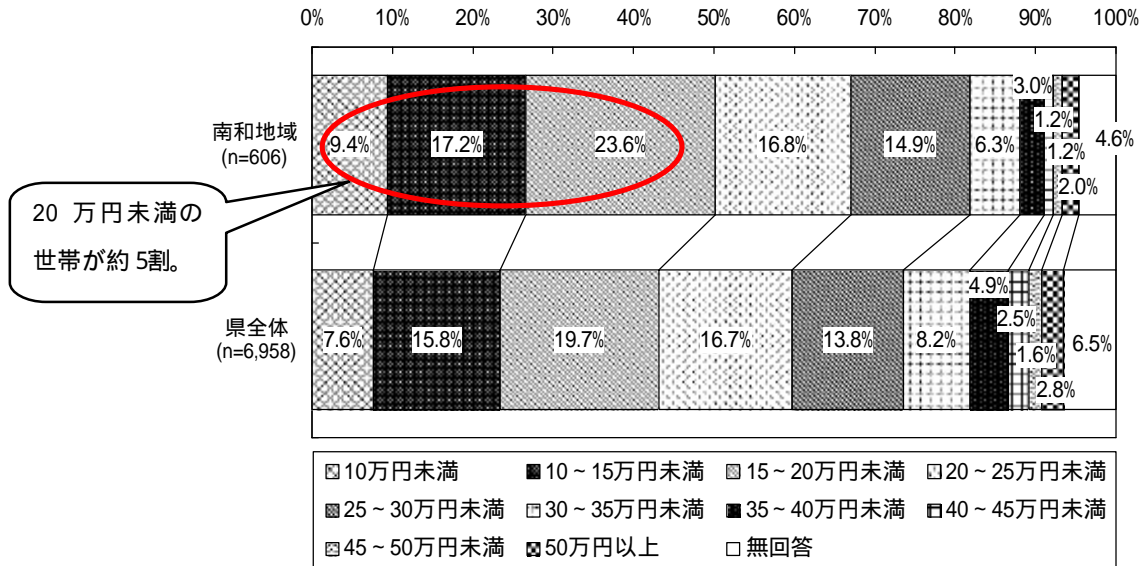
【高齢単身世帯及び高齢夫婦世帯】



月間支出 ... 高齢者世帯以外

- ・年間収入を、高齢単身世帯、高齢夫婦世帯を除く世帯で見ると、
10万円未満の世帯は、県全体が7.6%に対し、南和地域では9.4%。
20万円未満の世帯は、県全体が約4割(43.1%)に対し、南和地域では約5割(50.2%)。

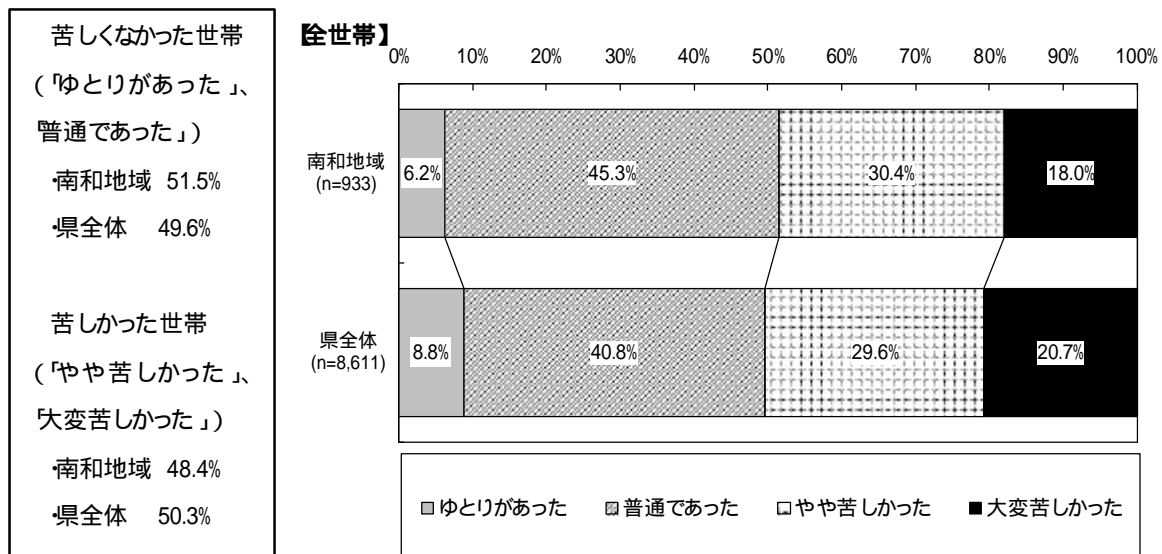
【高齢単身世帯及び高齢夫婦世帯以外】



総合的な家計の状況 ... 全世界帯

- ・南和地域の、総合的な家計の状況について、全世界帯をみると、
「ゆとりがあった」は、6.2%と県全体に比べて2.6%低い。
「普通であった」は、45.3%と県全体に比べて4.5%高い。
「やや苦しかった」は、30.4%と県全体に比べて0.8%高い。
「大変苦しかった」は、18.0%と県全体に比べて2.7%低い。

図 23 総合的な家計のゆとりの状況



総合的な家計の状況 ... 高齢者世帯

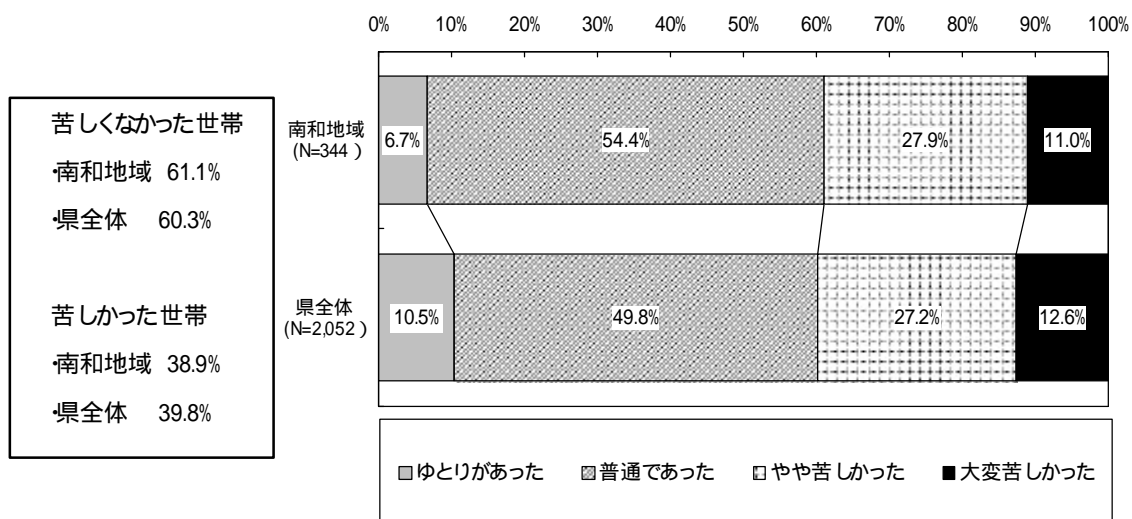
・南和地域の、総合的な家計の状況について、高齢者世帯（高齢単身世帯、高齢夫婦世帯）だけで見ると、「ゆとりがあった」は、6.2%と県全体に比べて3.8%低い。

「普通であった」は、45.3%と県全体に比べて4.6%高い。

「やや苦しかった」は、30.4%と県全体に比べて0.7%高い。

「大変苦しかった」は、18.0%と県全体に比べて1.6%低い。

【高齢単身世帯及び高齢夫婦世帯】



総合的な家計の状況 ... 高齢者世帯以外

・南和地域の、総合的な家計の状況について、高齢単身世帯、高齢夫婦世帯を除く世帯で見ると、

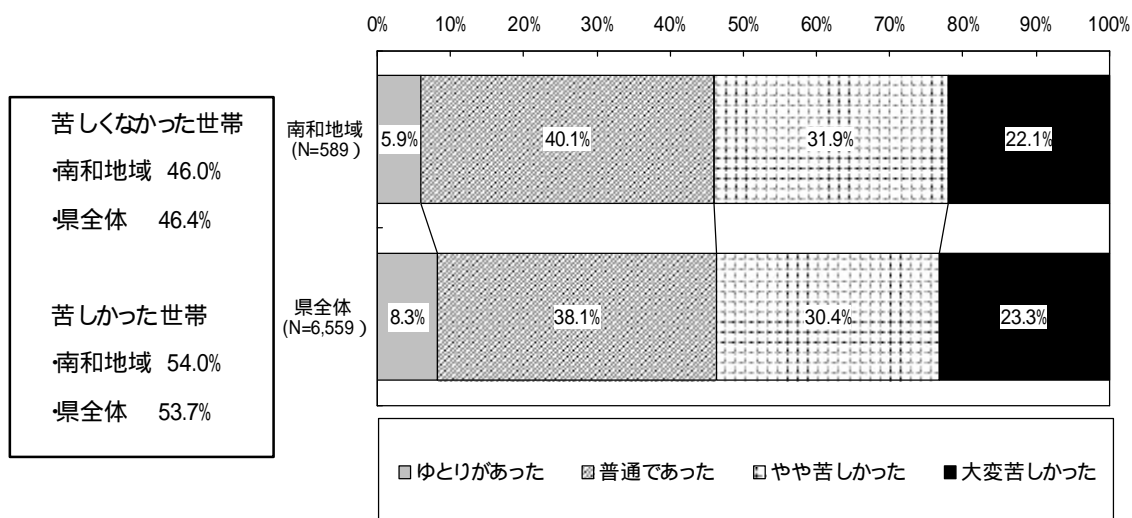
「ゆとりがあった」は、6.2%と県全体に比べて2.4%低い。

「普通であった」は、45.3%と県全体に比べて2.0%高い。

「やや苦しかった」は、30.4%と県全体に比べて1.5%高い。

「大変苦しかった」は、18.0%と県全体に比べて1.2%低い。

【高齢単身世帯及び高齢夫婦世帯以外】



近所づきあいの程度

- ・南和地域では、「互いに相談したり、日用品の貸し借りをしたり、生活面で協力しあっている人がある」世帯の比率が高い。(43.0%)
- ・県全体と比べ「あいさつ程度の最小限のつきあいをしている」(13.9%)、「付き合いをしている人はいない」(0.7%)という回答の比率は低い。

「互いに相談したり…」が43.0%と県全体に比べて目立って高い。

図 24 近所づきあいの程度

